

令和3年7月末第9回影響調査のポイント

(令和3年7月の社会経済情勢)

会員事業者488者を対象として影響調査を行った令和3年7月は、5月に本県に対して初めて適用された「まん延防止等重点措置」が6月に解除されて、第4波の感染状況が落ち着く中で、飲食店認証制度のスタート、宿泊助成事業の再開、4連休・夏休期間にも入って、厳しかった飲食業・宿泊業等も一時期は活性化した状況であった。

しかしながら、7月下旬には第5波が県内でも急拡大し、2回目となる県独自の「蔓延防止宣言」が発出される等、経済活動に急ブレーキがかかった時期でもあった。

今回調査の主なポイントは以下のとおり

1. 前年令和2年7月との売上高比較では、一時期経済活動が活発化したこともあって、50%減の割合が8%と小さくなり、100%以上が約4割(42%)となった。一方では、残り約6割(58%)が前年を下回っている。また、コロナ禍前の令和元年7月との比較では、100%以上が1/4(25%)となり、3/4(75%)が前々年比を下回った。
2. 「まん延防止等重点措置」が中旬まで適用されていた6月との比較では、50%減が16者(3%)と少なく、1/2(50%)の242者が100%以上となった。
3. 業種別では、コロナ禍の影響を大きく受けている飲食・宿泊業の50%減の割合が、前回調査の5月と比べて、それぞれ大きく減少した。
4. 時短営業や休業が減少したことにより、通常操業の割合が92%となり、調査期間を通して最も高くなった。
5. 倒産件数は、国県等の支援により、4～7月までの4ヶ月連続で「0」となり、廃業件数は、「まん防」が適用されていた6月に19件と増加し7月は6件と落ち着いたが、昨年の調査開始以来の累計は212件に達した。

(今後の見通し)

ワクチン接種が進む一方で、7月下旬から「デルタ株」による第5波感染が急拡大して、首都圏等への緊急事態宣言や本県への2回目となる「まん延防止等重点措置」が適用され、書き入れ時である8月のお盆や夏休み期間中の経済活動が制限されていることから、再び、飲食業・宿泊業を中心に経営への大きな影響が出ることが懸念される。

第10回目となる次回調査は、令和3年9月末に行い10月中旬に公表予定である。

商工会連合会としては、今後もコロナ禍の影響が続く間は影響調査を継続していく。

< 資料に関してのお問合せ先 >

熊本県商工会連合会 特任支援課 担当：藤田・坂本

電話：096-325-5161 FAX：096-325-7640

E-Mail：r-sakamoto@kumashoko.or.jp

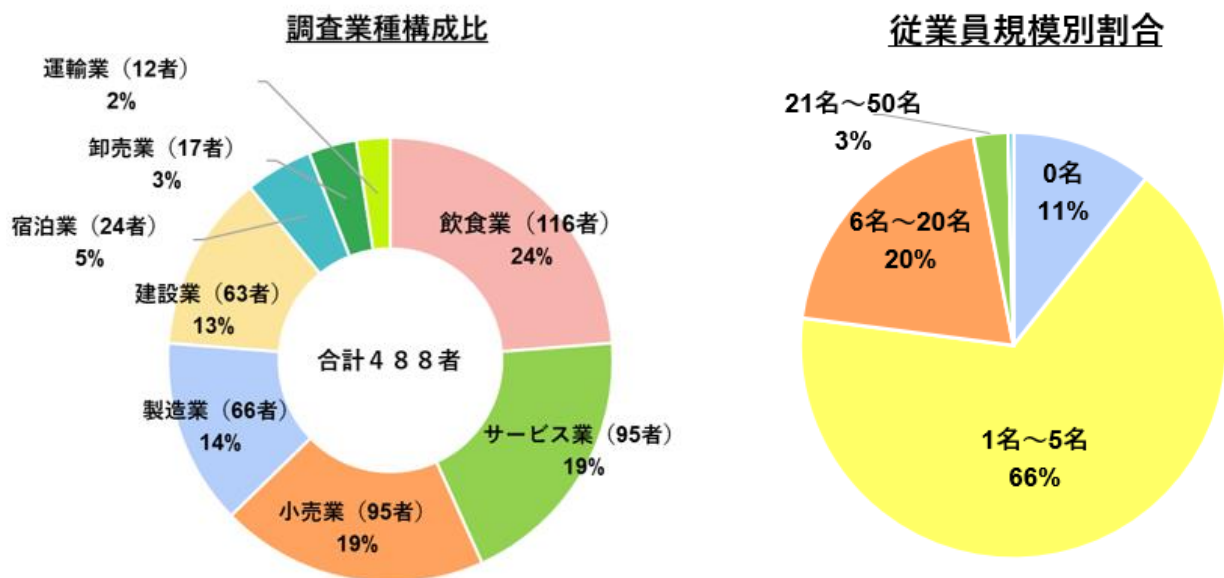
住所：〒860-0801 熊本市中央区安政町3番13号 熊本県商工会館7階

1. 会員事業者への影響調査

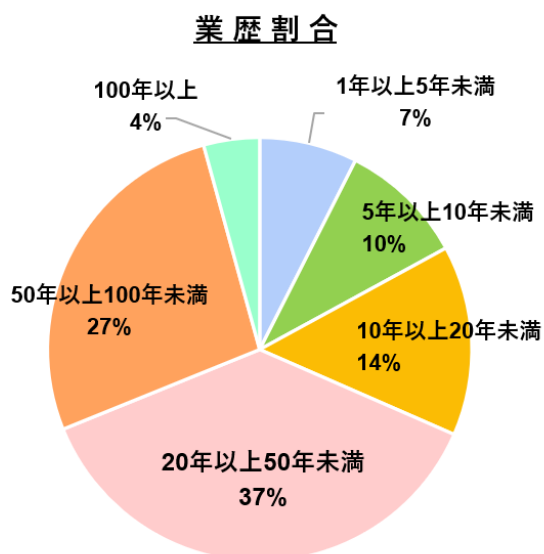
■新型コロナウイルス感染症に係る「第9回経営への影響追跡調査」を実施

- ・調査時点 令和3年7月31日時点
- ・調査対象 県内49商工会 会員事業所 **488者**（1商工会当たり10者程度抽出）
- ・調査方法 商工会が2ヶ月毎に毎回同一会員事業所にヒアリングのうえウェブ回答

（1）調査業種の構成比 ／ 従業員規模（n=488）



（2）業歴（n=488）

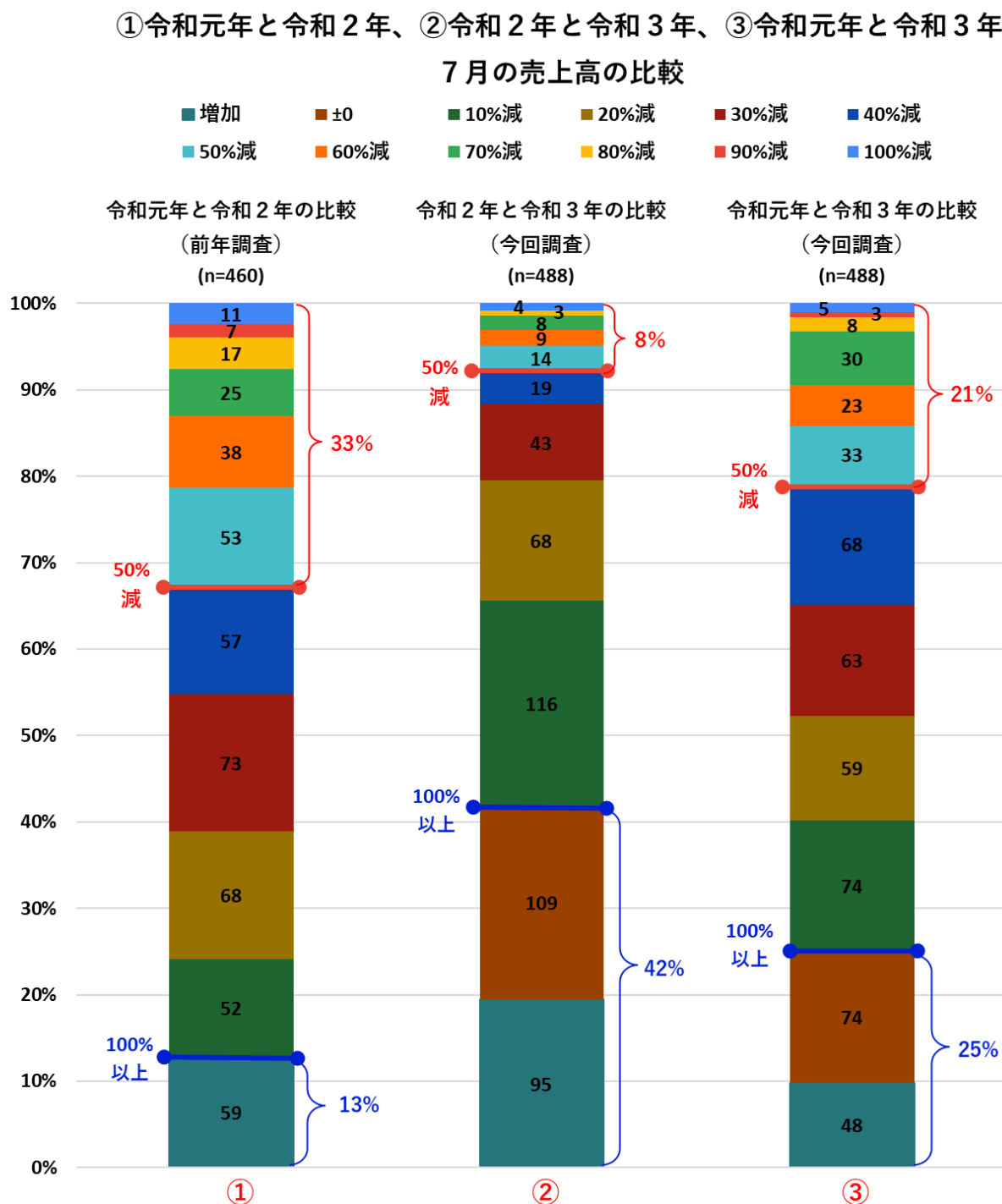


(注) 下段の棒グラフは、熊本県内新規感染者数（出典：熊本県ホームページ/新型コロナウイルス感染症の熊本県内での発生状況/発生状況グラフ）

売上高の推移



イ ①令和元年と令和2年、②令和2年と令和3年、③令和元年と令和3年7月における売上高の比較



- ① コロナ禍前の令和元年7月と、GoTo トラベルが始まる中で第2波が拡大した令和2年7月との比較では、最も厳しかった令和2年5月より回復はしたものの、依然として50%減の割合が1/3 (33%) を占める厳しい状況であった。
- ② 令和2年7月と経済活動が一時期活性化した令和3年7月との比較では、50%減の割合が8%、100%以上が42%と、それぞれ調査開始以来の割合となった。一方では、残り58%が前年を下回っている状況にある。
- ③ 令和元年7月と令和3年7月との比較では、100%以上が1/4 (25%) となり、3/4 (75%) がコロナ禍前の前々年を下回る厳しい状況となっている。

ウ 令和2年7月と令和3年7月の比較で売上高プラス影響要因【対前年比割合100%以上の事業所】

【飲食業】

- ・ ネット販売増。（宇城市／飲食業）
- ・ デリバリー事業に取り組んだので売上増加となった。（玉名市／飲食業）
- ・ 昨年は水害により営業出来ていなかったため。（芦北町／飲食業）
- ・ ワクチンの行き渡りと、各行事等の再開の影響もあってか、昨年より人の動きがあった。
感染対策により、施設を安心して使えるようになったのではないか。（錦町／飲食業）
- ・ コロナ感染症の拡大期間の谷間の月で、お客様が戻ってきた。（水上村／飲食業）
- ・ まん延防止が解除になり、週末の客数が増えた。5～6月は、酒類提供もできなかったためその反動が7月頭に集中した。団体客の予約はなくとも、3～4人または家族の利用が主だった。1年前の7月と違い昼の営業も行っている。（熊本市北部／飲食業）
- ・ 自粛ムードの緩和。（和水町／飲食業）

【宿泊業】

- ・ 熊本県民割の影響。（南阿蘇村／宿泊業）
- ・ 令和2年7月豪雨に被災、休業のため。（小国町／宿泊業）

【製造業】

- ・ ネット販売が好調。（山江村／製造業）
- ・ 1年前の売上高があまりに悪かった為。（益城町／製造業）
- ・ 昨年7月は、コロナ禍で受注が少なかった。今年7月は、緊急事態宣言やまん延防止宣言が解除され、徐々に工事が再開され受注増加に至った。（天草市／製造業）
- ・ EC販売などを中心に売り上げは増えている。（菊池市／製造業）

【小売・卸売業】

- ・ 村の地域振興券の影響。（山江村／小売業）
- ・ ケーキの製造販売をしているが、巣ごもり需要により売上が伸びている（熊本市植木町／小売業）
- ・ 令和2年がかなり悪かったので。（多良木町／小売業）
- ・ 原油価格の上昇による売値が上がった事及び、昨年はコロナのためでかけることを少なくしていた方が今年に入る外出することがだいぶ増えている。（熊本市北部／小売業）
- ・ 小売先を開拓し、売上が増加。（山都町／卸売業）
- ・ 昨年は水害で業務ができなかったため。（芦北町／卸売業）

【サービス業】

- ・ 車検や整備などが主であり、コロナの影響を受けにくい業種であるため。（八代市／サービス業）
- ・ 販路開拓の取り組みを行った。（熊本市飽田／サービス業）

【建設業】

- ・ 土木業であるが、昨年よりは元請け工事があり売上も伸びている。（玉名市／建設業）
- ・ 従業員の増加により受注量が増えた。（津奈木町／建設業）
- ・ R2年の豪雨災害復旧工事などの災害関係の仕事があるため。（山鹿市／建設業）
- ・ 水害による工事の増加。（芦北町／建設業）

- ・令和２年７月豪雨災害関連工事による。（相良村／建設業）
- ・建設業にはコロナの影響無し。（熊本市河内／建設業）
- ・令和２年７月豪雨災害の影響で受注が増えた。（湯前町／建設業）

エ 令和２年７月と令和３年７月の比較で売上高マイナス影響要因【対前年比割合５０％以下の事業所】

【飲食業】

- ・コロナ禍、クラスター防止のため、各会合・宴会のキャンセルで予約等が減少したため。
（多良木町／飲食業）
- ・５月末で営業を終了。（玉東町／飲食業）
- ・令和２年は一時的にコロナ患者が減少し、団体等の飲食が多かったが、今年は飲食自粛で売上減となった。（宇土市／飲食業）
- ・炭火焼きの焼き鳥の提供を中心とする飲食店である。人々がコロナ禍になれて動かない家飲みになれてしまっているオリンピックが始まって外に出ない。（甲佐町／飲食業）

【宿泊業】

- ・コロナ過の影響により宿泊客を制限している（小国町／宿泊業）
- ・コロナの影響で宿泊客が激減。（水上村／宿泊業）

【小売業】

- ・飲食店からの注文がない。（熊本市北部／小売業）
- ・イベント、販売先の集客が大幅に減ったため。（阿蘇市／小売業）
- ・外出自粛等による服飾品の買い控え。（美里町／小売業）

【製造業】

- ・取引先（旅館）の休業。（山江村／製造業）
- ・コロナの影響。イベント等の減少によるため。（山鹿市／製造業）

【サービス業】

- ・コロナ感染症の影響で外出自粛によるものが大きい。（南関町／サービス業）
- ・自粛制限による、消費者の購買意欲低下。（天明町／サービス業）
- ・コロナウイルスの影響による外出自粛。（津奈木町／サービス業）

【建設業】

- ・昨年の仕事が多かった。（津奈木町／建設業）
- ・瓦の仕入れ設置する建設業を営んでいる工事の減少。熊本地震の震災需要が少なくなっている。（甲佐町／建設業）
- ・昨年７月に大きな受注工事があったため。（天草市／建設業）
- ・廃業を検討中。（菊陽町／建設業）

オ 令和元年7月と令和3年7月の比較で売上高プラス影響要因【対前々年比割合100%以上の事業所

【飲食業】

- ・ 商工会発行の倍返し飲食券の発行の効果。（南小国町／飲食業）

【宿泊業】

- ・ 令和元年にはしていなかったテイクアウト事業をおこなったため。（水上村／宿泊業）

【小売業】

- ・ コロナ禍で休みが増えて、二輪車の免許を取る人が増え、二輪車購入するという現象がうちの店にも当てはまったと思う。（多良木町／小売業）
- ・ 村の地域振興券の影響。（山江村／小売業）
- ・ 創業して3年になるが、地域の方に認知してもらい徐々に売上が伸びている。
（熊本市植木町／小売業）
- ・ 巣ごもり消費。（熊本市河内／小売業）
- ・ コンビニの売上げが伸びている郊外店はコロナの影響が少ないし、地元に着定してきた。
（高森町／小売業）
- ・ オリンピックが始まったことにより家庭で過ごす時間が増えた。（熊本市北部／小売業）
- ・ 小売以外の事業に着手。（和水町／小売業）

【製造業】

- ・ ネット販売が好調。（山江村／製造業）
- ・ 通販や直営店の売上が伸びた。（高森町／製造業）
- ・ 巣ごもり消費。（熊本市河内／製造業）
- ・ 令和2年7月水害特需。（錦町／製造業）
- ・ 毎年原木椎茸を増産しているため加工品の売上がのびてきているため。（菊池市／製造業）
- ・ コロナ以前と比較しても、売上げのEC比率が増加し、全体的な販売額も上回っている。
（菊池市／製造業）

【サービス業】

- ・ 令和2年7月の熊本豪雨の復興需要で受注が増加したため。（熊本市託麻／サービス業）
- ・ コロナの緩和に伴い、人が動きだした為。（山鹿市／サービス業）
- ・ コロナの影響が出にくい業種である。（大津町／サービス業）

【建設業】

- ・ 新型コロナウイルスの影響がない業種である事と労働生産性の向上を実施しているため
（熊本市植木町／建設業）
- ・ 土木については、コロナの影響により売上減少はない。（玉名市／建設業）
- ・ 令和2年7月水害による建て替え等の受注増加。（芦北町／建設業）
- ・ 令和2年7月豪雨災害の影響で受注が増えた。（湯前町／建設業）

カ 令和元年7月と令和3年7月の比較で売上高マイナス影響要因【対前々年比割合50%以下の事業所】

【飲食業】

- ・ コロナ感染者の増加に伴うまん延防止措置等の施行により顧客数が減少したため。
(熊本市植木町／飲食業)
- ・ コロナの影響により外国人観光客が減少したため。(南小国町／飲食業)
- ・ 炭火焼きの焼き鳥の提供を中心とする飲食店であるが、飲食店がひとくくりにされており風評被害もあると思われる(風営法の店と一緒にされている)(甲佐町／飲食業)
- ・ 懇親会の2次会などでのお客様が主な客層であり、懇親会自体が減少しているためその影響が出ている。(あさぎり町／飲食業)
- ・ 未だ大人数での利用、宴席等は自粛する傾向にあるため、少額の売上に留まっている。
(錦町／飲食業)
- ・ コロナウイルス感染症の影響や後継者がいないため、5月末で営業を終了した。(玉東町／飲食業)
- ・ イベント関係がすべて中止となっているためイベントへの出展販売ができない。(美里町／飲食業)
- ・ コロナウイルスによる度重なる休業や時短の要請のため。(八代市／飲食業)
- ・ 豪雨災害とコロナの影響。(八代市／飲食業)
- ・ コロナで宴会や法事がなくなってしまった。(熊本市植木町／飲食業)

【宿泊業】

- ・ 都市部からのグループ利用が多かったが、コロナ流行によりグループ利用が敬遠されていると感じる。(産山村／宿泊業)
- ・ コロナの影響で宿泊自体を控えている事と、宿泊したとしてもキャンペーンの割引価格でないと宿泊をしない風潮へなってきたと思う。(熊本市植木町／宿泊業)

【小売・卸売業】

- ・ コロナの影響による飲食店との取引の減少。(津奈木町／卸売業)
- ・ 訪問販売が厳禁となったことが影響したため。(熊本市託麻／小売業)

【製造業】

- ・ 取引先(旅館)の休業。(山江村／製造業)
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策で移動およびスポーツ大会等の自粛のため(菊池市／製造業)
- ・ コロナの影響によりイベント等が中止となっているため。(芦北町／製造業)
- ・ イベント出演の減・太鼓製造の注文減・太鼓修理依頼の減が主な原因。(苓北町／製造業)

【サービス業】

- ・ 外出自粛によるもの大きい。(南関町／サービス業)
- ・ クリーニング業を営む冠婚葬祭が少ない。正装の機会が少ない。イベントがない。
(甲佐町／サービス業)
- ・ クリーニング業を営む旅行行かない 家で洗える よそ行き回数少ない 外出しない。
(甲佐町／サービス業)

【運輸業】

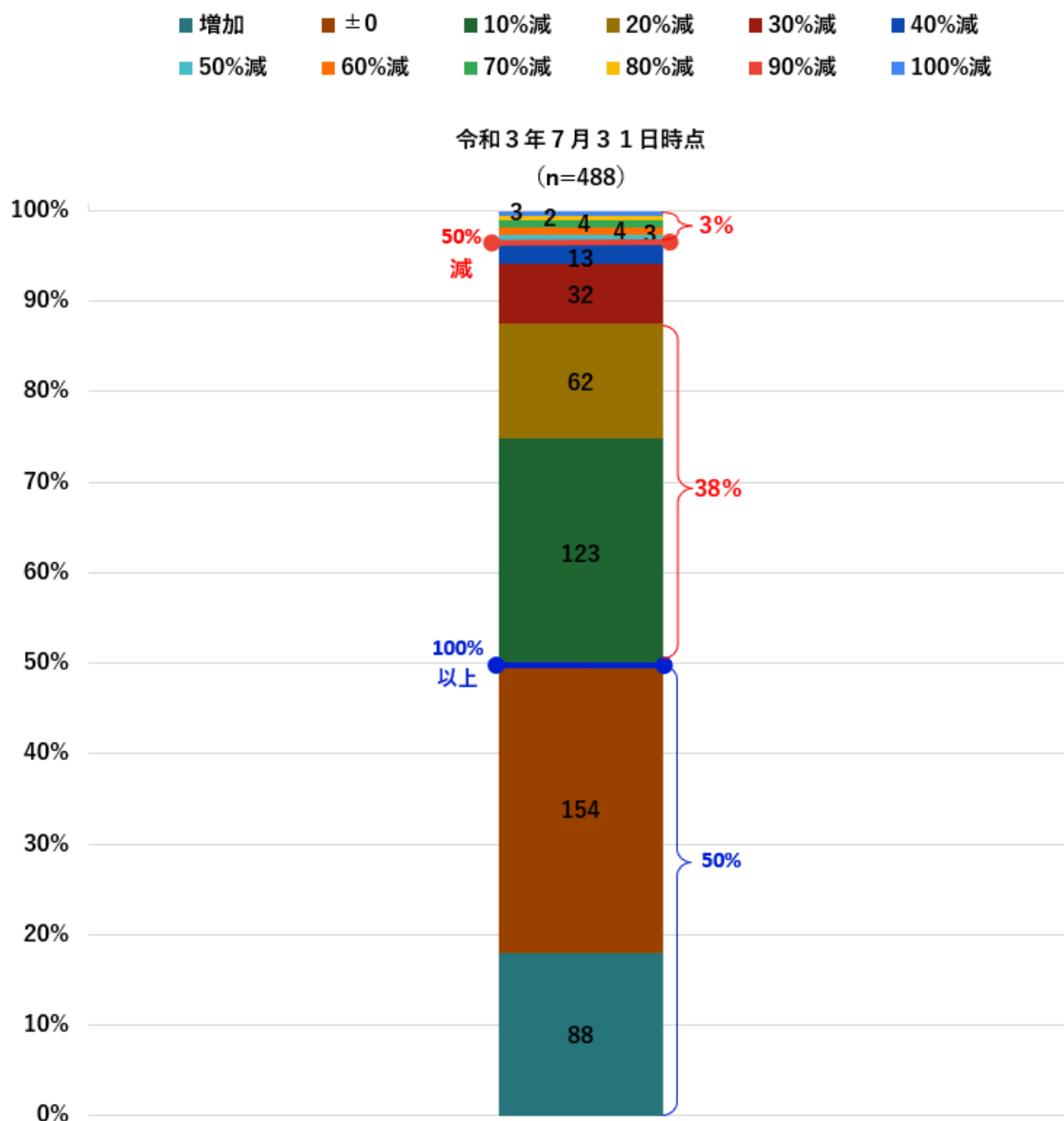
- ・ 旅行、学校クラブなどの遠征試合、イベントなどコロナの感染者数が一時減った時、予約も入ったが、結局全てキャンセルで売上が減っている状態。(菊池市／運輸業)
- ・ 観光事業が減ったため。(高森町／運輸業)

【建設業】

- ・ 瓦の仕入れ設置する建設業を営んでいる。熊本地震の震災需要が少なくなっている。コロナ禍になり代表が大工等の建設業者に営業をかけられなくなっている。対面するのをいやがられている。
(甲佐町／建設業)

キ 令和3年6月と令和3年7月における売上高の比較

令和3年6月と令和3年7月の売上高の比較



- ・ 7月と前月（6月）の比較では、50%減が16者（3%）と少ない一方で、100%以上が1/2（50%）、10%減と20%減の合計も38%を占め、合わせると約9割（88%）になっている。
- ・ 要因として、6月は「まん延防止等重点措置」が中旬まで適用され、その後回復傾向にあったことに対して、7月は第5波が下旬に拡大するまでの間は、4連休・夏休に加え、飲食店認証制度のスタート、県等の宿泊助成事業の再開等により、経済活動が一時期活発化したことが挙げられる。

ク 令和3年6月と令和3年7月の比較で売上高プラス影響要因【対前月比割合100%以上の事業所】

【飲食業】

- ・ 蔓延防止が解除されて、多少は宴会等が入るようになった。(御船町／飲食業)
- ・ 5～6月はまん延防止措置の適用により急激に顧客の足が遠のいたため、7月とは比較にならないため。(熊本市植木町／飲食業)
- ・ 時短要請が終了したためと思われる。(宇城市／飲食業)
- ・ 7月は時短営業が終了したため。(熊本市託麻／飲食業)
- ・ HPやSNSで商品の情報発信をしたので、新規顧客が増加し売上増加となった。(玉名市／飲食業)
- ・ 商工会発行の倍返し飲食券の発行の効果。(南小国町／飲食業)
- ・ 夏休みが始まったから。(南小国町／飲食業)
- ・ 緊急事態宣言(蔓延防止等重点措置)が解除になったため。(氷川町／飲食業)
- ・ 夏休みの影響でお客さんが増加した。(大津町／飲食業)
- ・ 6月はまん延防止で時短だった為。7月はフルで営業していた為。(大津町／飲食業)
- ・ ワクチン接種が済んだという高齢の方が増えた為(当店の客層は年配の方が多い)(八代市／飲食業)
- ・ 6月は、時短要請もあり営業できなかったため。(湯前町／飲食業)
- ・ 4連休時の来店客が増加につながったため。(玉東町／飲食業)
- ・ まん延防止等重点措置の解除による客単価の上昇。(宇城市／飲食業)
- ・ プレミアム商品券の利用が多かった。ワクチン接種を終えた人が増えた。(水上村／飲食業)
- ・ 蔓延防止等充填措置の解除により客足が増えたと思われる。(産山村／飲食業)
- ・ まん延防止等重点措置が解除され、県内外のお客さんが増えた。(産山村／飲食業)
- ・ 6月の梅雨時期に対し、7月の大型の連休もあったため。(西原村／飲食業)
- ・ コロナの感染者が落ち着いて、少人数の集まりが増えたため。(熊本市植木町／飲食業)
- ・ 自粛ムードの緩和。(和水町／飲食業)
- ・ 町の商品券発行による需要増。(津奈木町／飲食業)

【宿泊業】

- ・ くまもと再発見の旅が始まった為。(上天草市／宿泊業)
- ・ 熊本県民割の影響。(南阿蘇村／宿泊業)
- ・ 感染者が一時減少し、予約が増加した。(南阿蘇村／宿泊業)
- ・ コロナの感染者が一時落ち着いたため。(熊本市植木町／宿泊業)
- ・ 大会の宿泊。(菊池市／宿泊業)
- ・ 夏休みが始まった為。(南阿蘇村／宿泊業)
- ・ 工事関係の長期滞在があったため。(八代市／宿泊業)
- ・ ビジネスの長期滞在客がいたので、(菊池市／宿泊業)

【小売業】

- ・ 夏休みということもあり、家族連れの顧客が増加した。(熊本市植木町／小売業)
- ・ 小売業を営む。ランチ、デザートを始めた。(甲佐町／小売業)
- ・ 酒類を中心とした小売業を営んでいます6月が農家の田植えなどで閑散期であります。7月は6月よりも毎年、売上は上回ります。(甲佐町／小売業)
- ・ 毎年6月より7月の方が売上げが多い。(高森町／小売業)
- ・ いろいろなトライや新規開拓。(宇土市／小売業)
- ・ 6月より天候が良かったことによる販売量の増加。(熊本市北部／小売業)

【製造業】

- ・ 木材価格の高騰による請負事業の増。(菊池市／製造業)
- ・ 素麺等の製麺製造業を営んでいる6～7月は繁忙期であり6月よりも7月の方が売れる主力商品が素麺であり、それが売れ出す。(甲佐町／製造業)
- ・ お中元ギフト。(高森町／製造業)
- ・ 御中元シーズンであるため。(氷川町／製造業)
- ・ 梅雨明けが早かったため。(上天草市／製造業)
- ・ お盆前が、一番忙しい時期になるから。水上村／製造業)
- ・ 当社の製品はアイスクリームであり季節要因。(阿蘇市／製造業)

【サービス業】

- ・ コロナの緩和に伴い、人が動きだした為。(山鹿市／サービス業)
- ・ 熊本まん延5・6月、7月はまん延がなかったことによるものと思われる。(山都町／サービス業)

【建設業】

- ・ R2年の豪雨災害復旧工事などの災害関係の仕事があるため。(山鹿市／建設業)

【運輸業】

- ・ ワクチン接種者の送迎バスの運行が5, 6, 7月とあったため売上が変わらなかった。
(山都町／運輸業)

ケ 令和3年6月と令和3年7月の比較で売上高マイナス影響要因【対前月比割合50%以下の事業所】

【飲食業】

- ・ 炭火焼きの焼き鳥の提供を中心とする飲食店である蔓延防止法が解除され6月は少し客が戻った。
その後反動で下がったか？(甲佐町／飲食業)
- ・ 町発行の商品券などの影響もあり、大幅の減少はさけられたように思える。(多良木町／飲食業)
- ・ 時短営業の為。(菊池市／飲食業)

【小売業】

- ・ 先月は新茶の時期だったので売り上げが上がったが、今月はその反動とお盆の需要がおちこんだため。(熊本市城南／小売業)

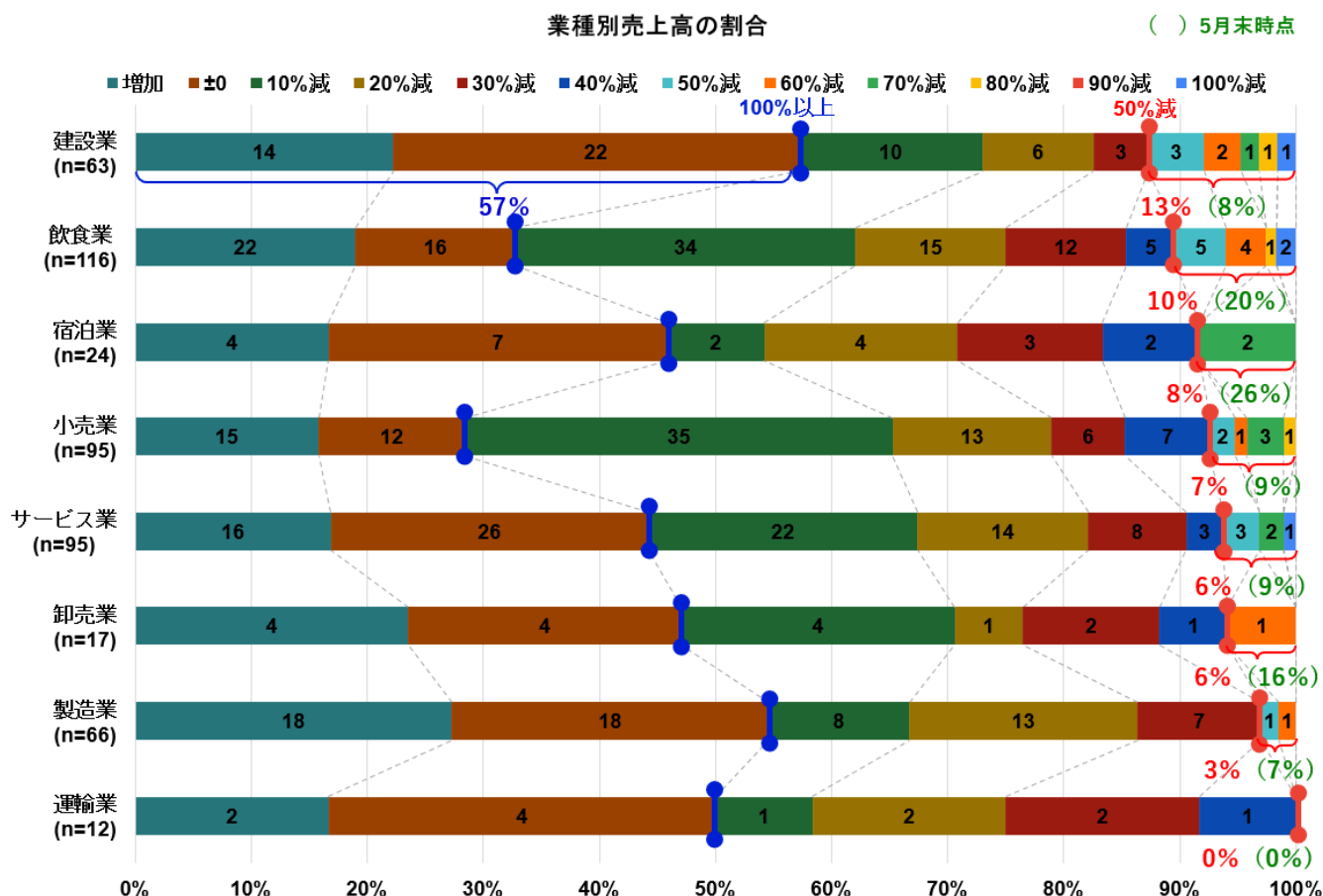
【サービス業】

- ・ 外出自粛によるものが大きい。(南関町／サービス業)

【建設業】

- ・ コロナの影響と7月は売上が減少しやすい時期であるため。(南小国町／建設業)
- ・ 瓦の仕入れ設置する建設業を営んでいる。リスクレベルが高くなり引き渡しが遅れている。ウッドショックの影響もあり大工からの仕事も少なく瓦離れもあると思われる。(甲佐町／建設業)

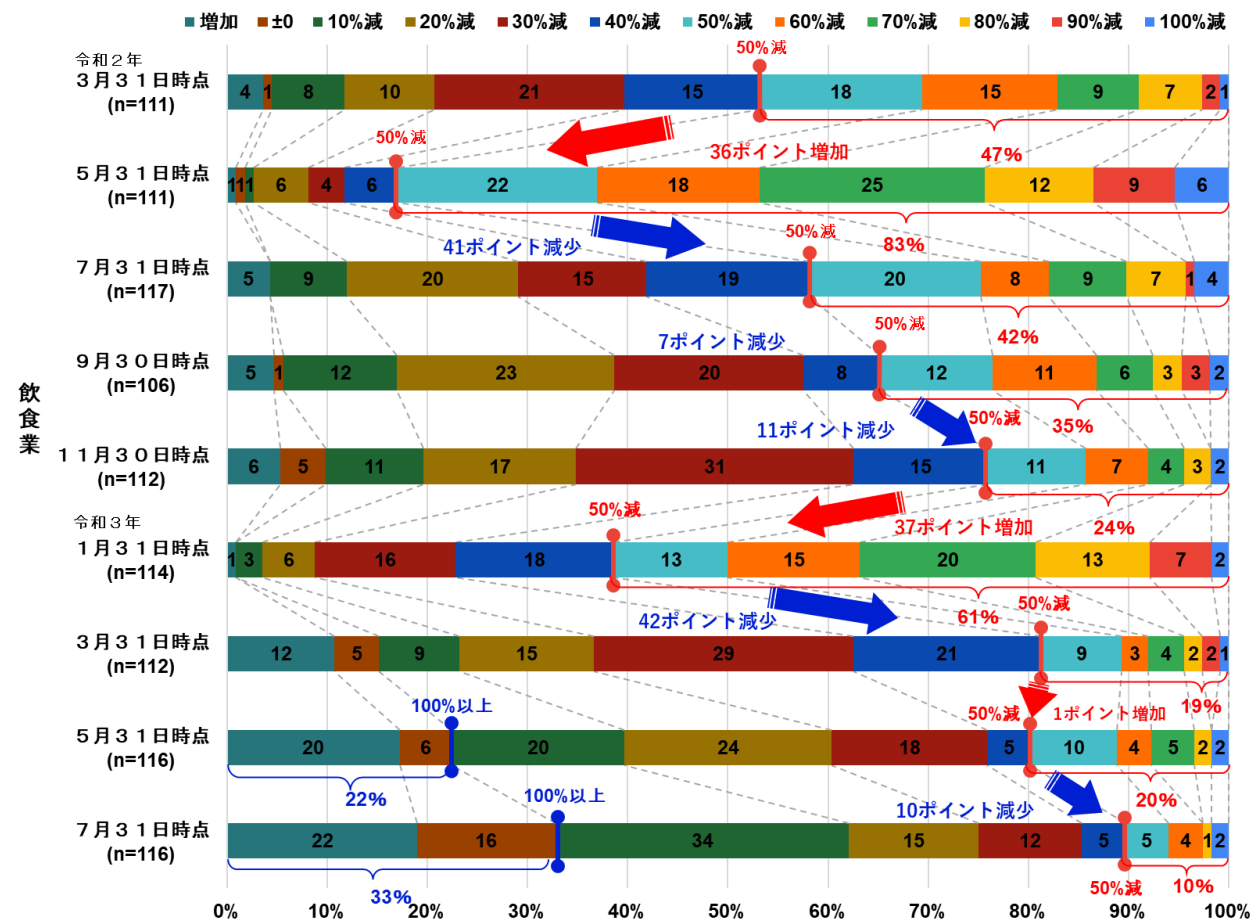
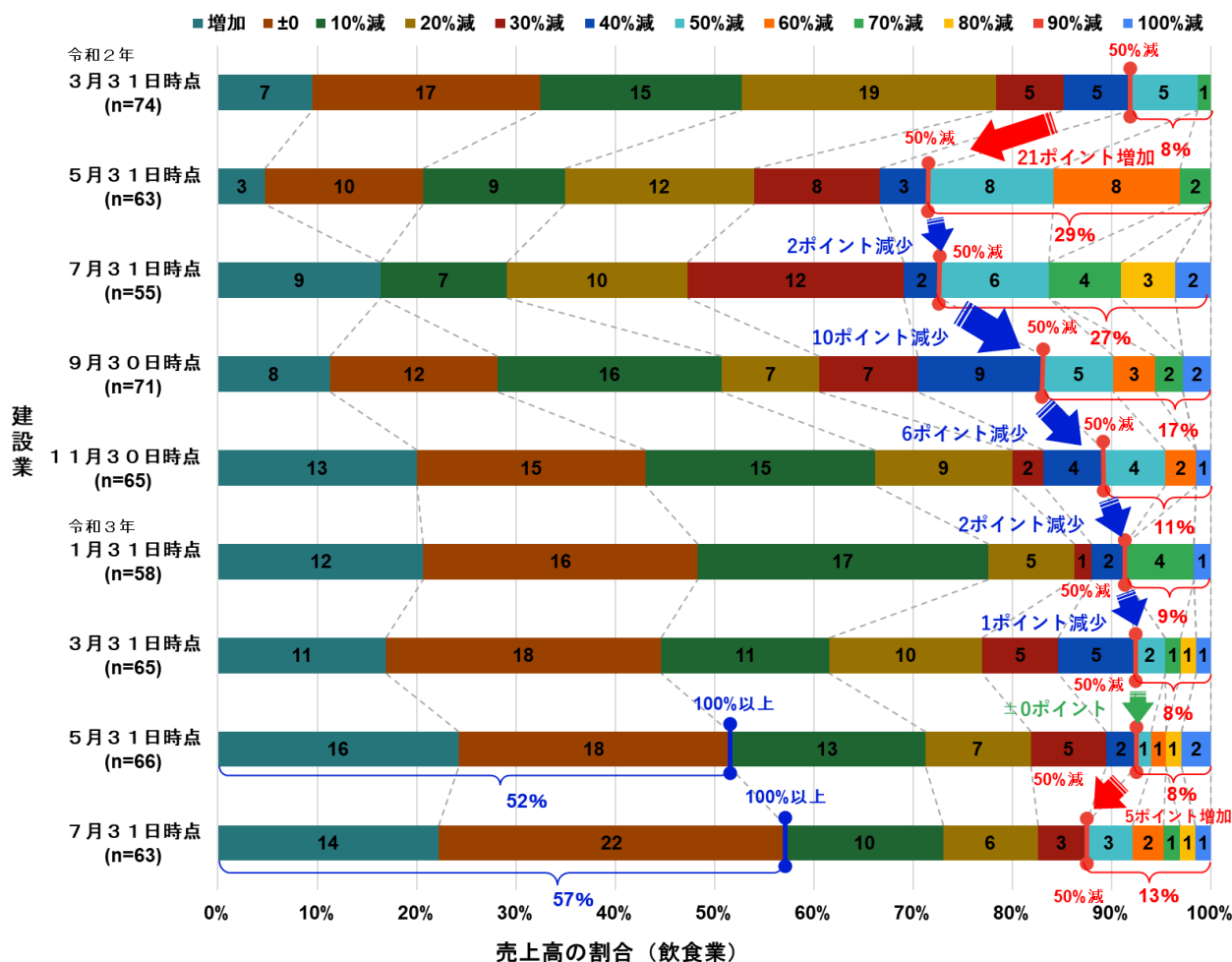
コ 業種別の売上高の対前年同月比割合について 【7月31日時点】



- ・建設業は100%以上が57%と業種別では最も大きい一方で、50%減が13%と最も大きくなっている。50%減の割合が大きくなった理由は、前年6月・7月に一時的に受注が多かったとの回答が複数者あったためである。
- ・コロナ禍の影響が大きい飲食業・宿泊業については、7月中下旬までは、4連休から夏休期間に入ったことや、飲食店認証制度のスタート、宿泊助成事業の再開等により、50%減の割合が5月末と比べてそれぞれ大きく減少した。

【7月31日時点：業種別売上高の対前年同月比割合】

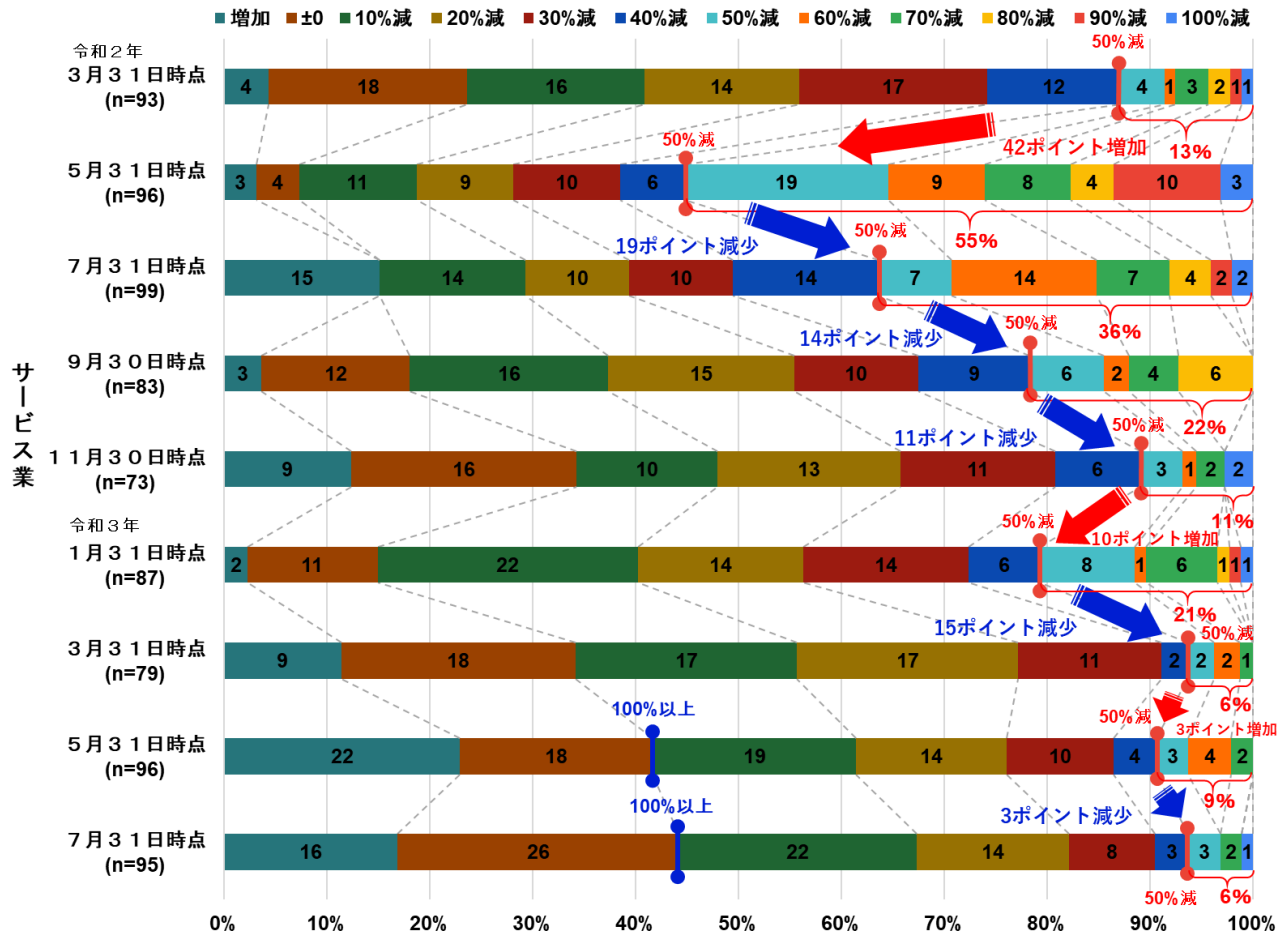
売上高の割合（建設業）



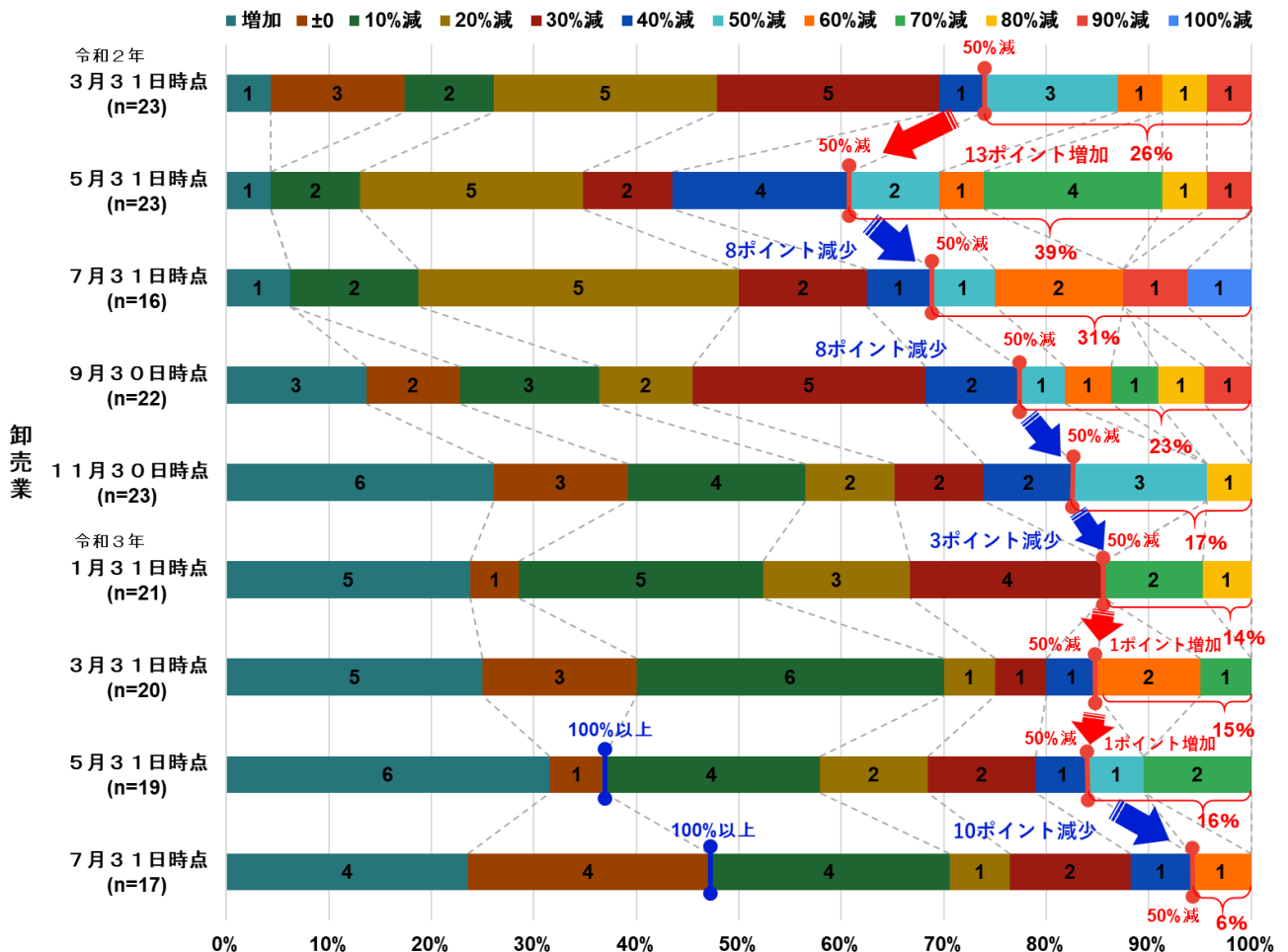
売上高の割合（小売業）



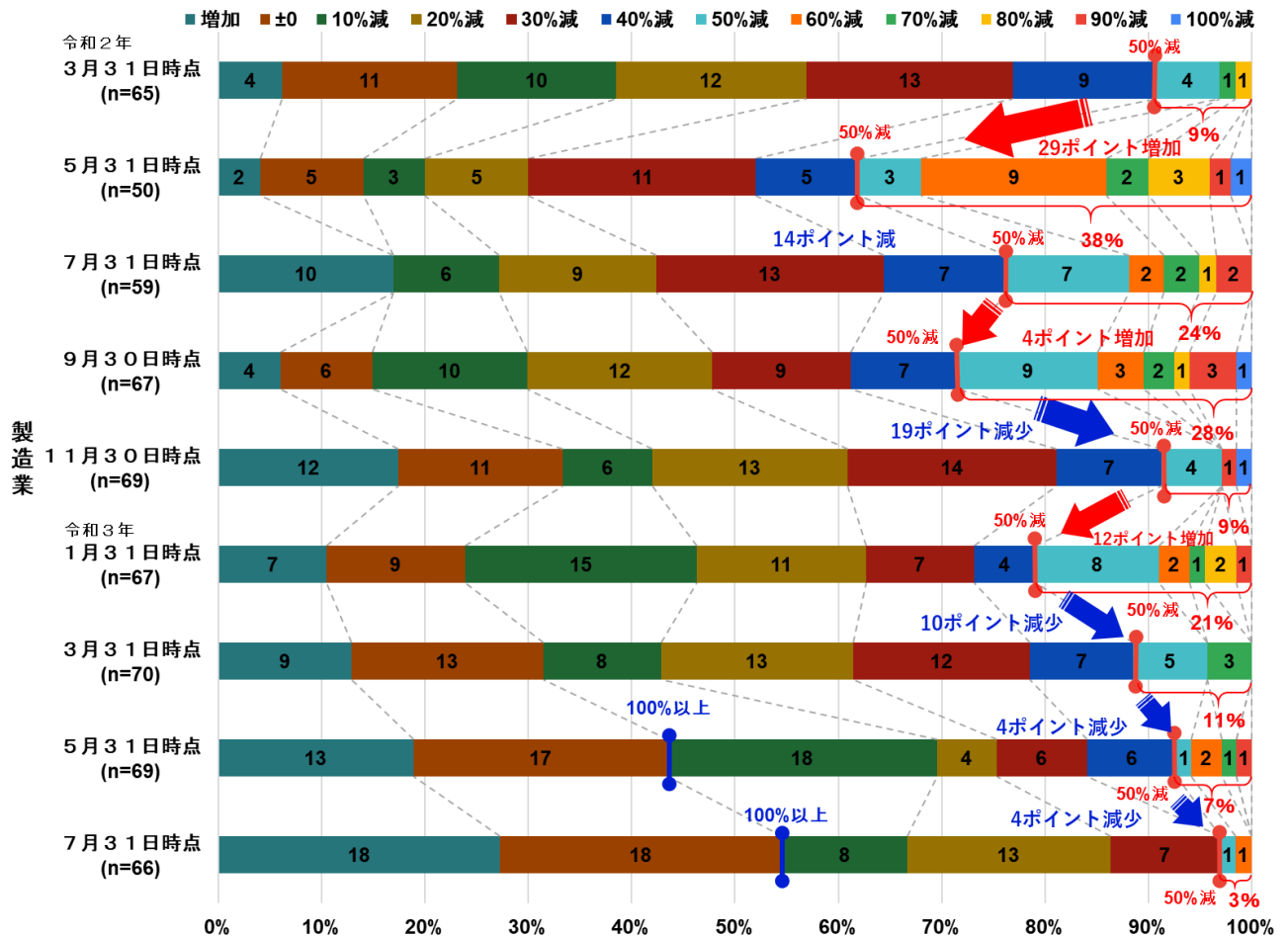
売上高の割合（サービス業）



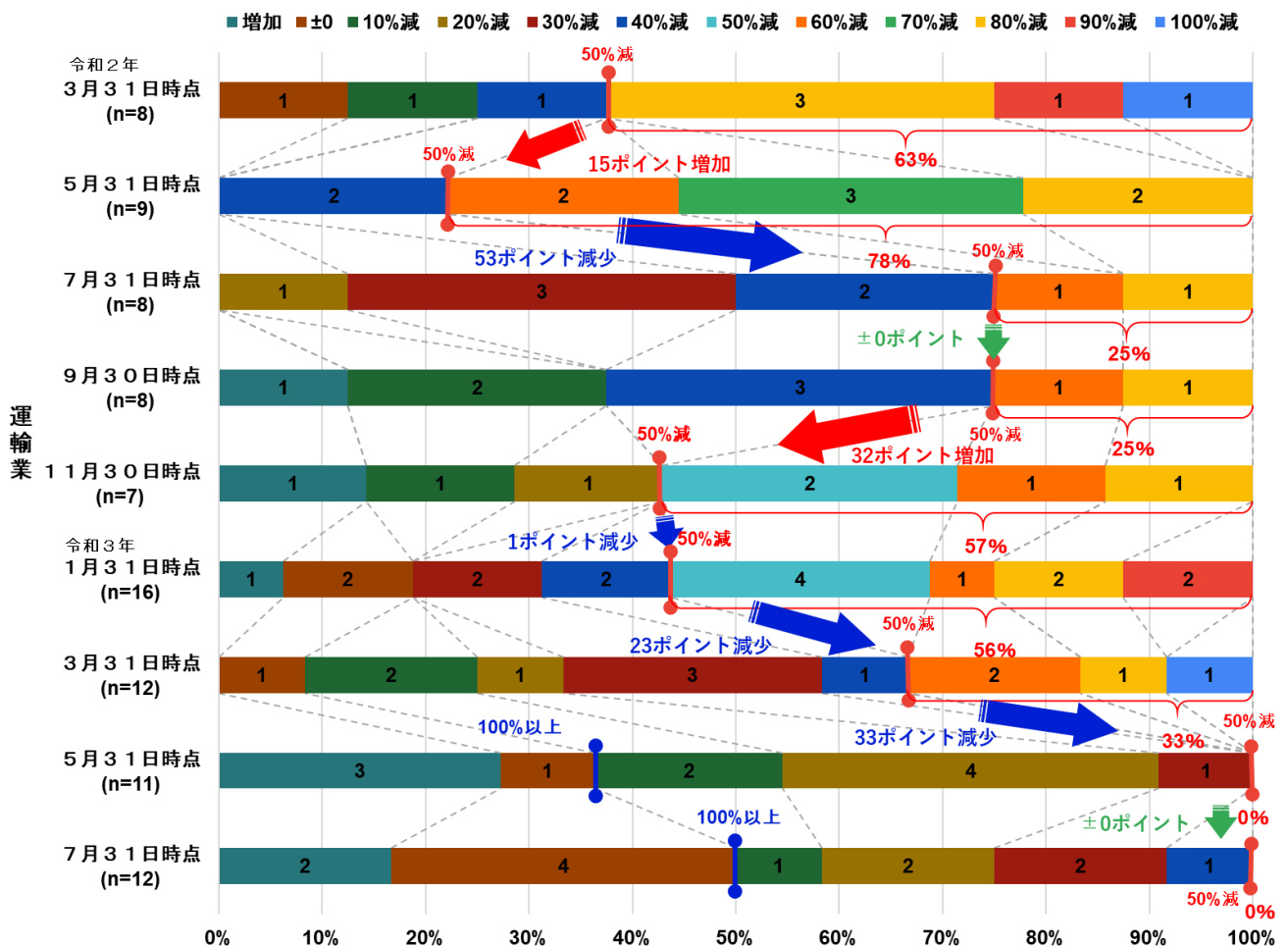
売上高の割合（卸売業）



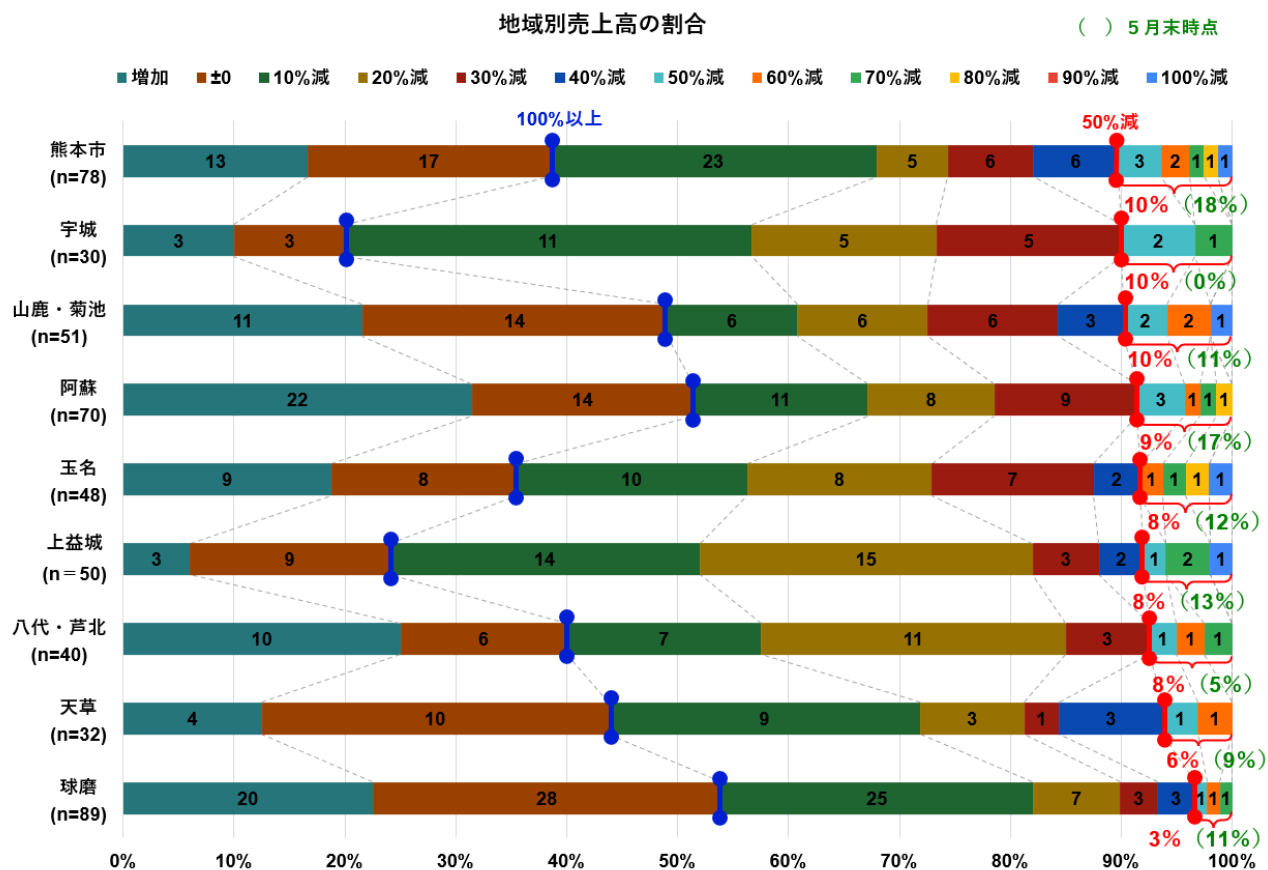
売上高の割合（製造業）



売上高の割合（運輸業）



サ 地域別の売上高の対前年同月比割合について 【7月31日時点】

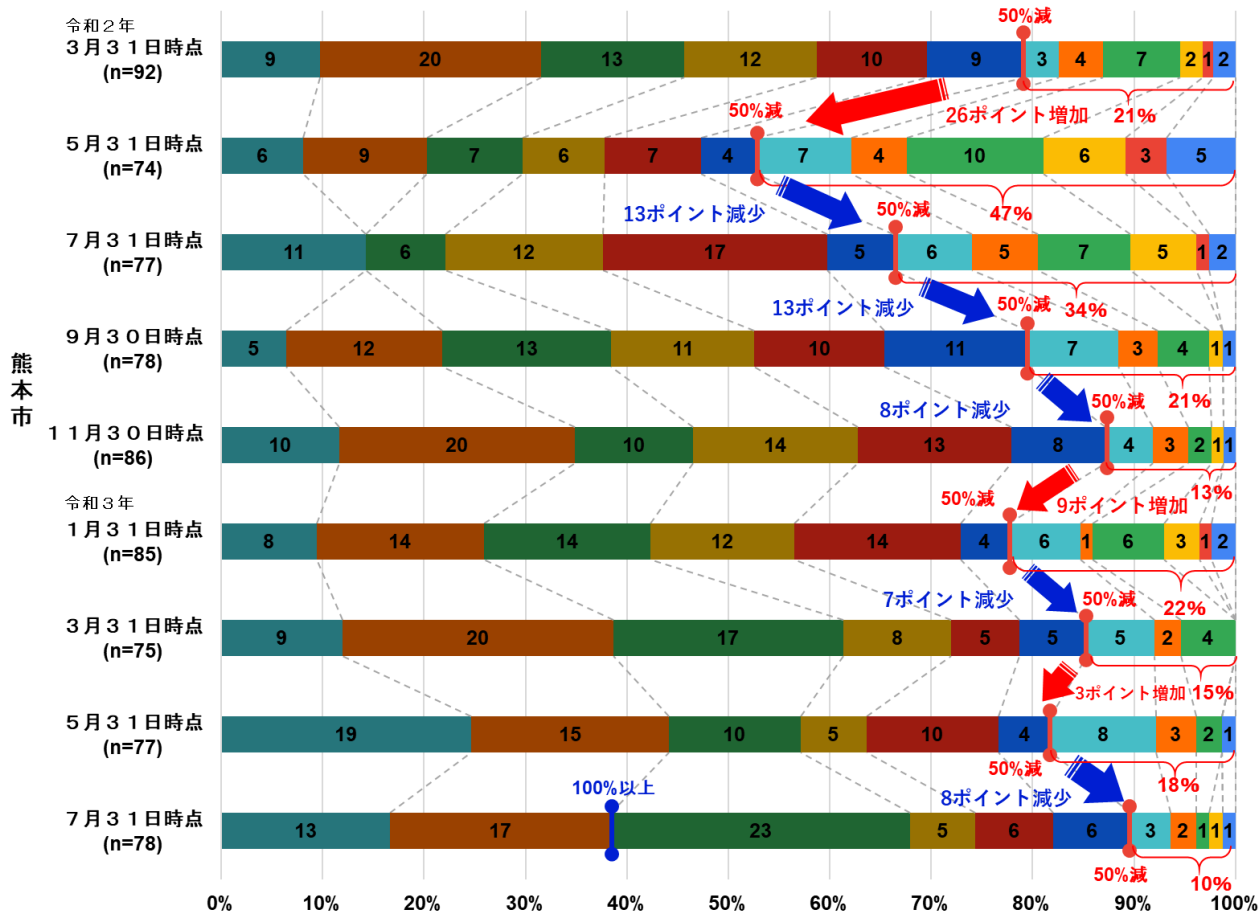


- ・ 7月中旬までの感染状況の落ち着きや夏休等による経済活動の要因もあって、50%減の割合が県内全地区で10%以下となった。

【7月31日時点：地域別売上高の前年同月比割合】

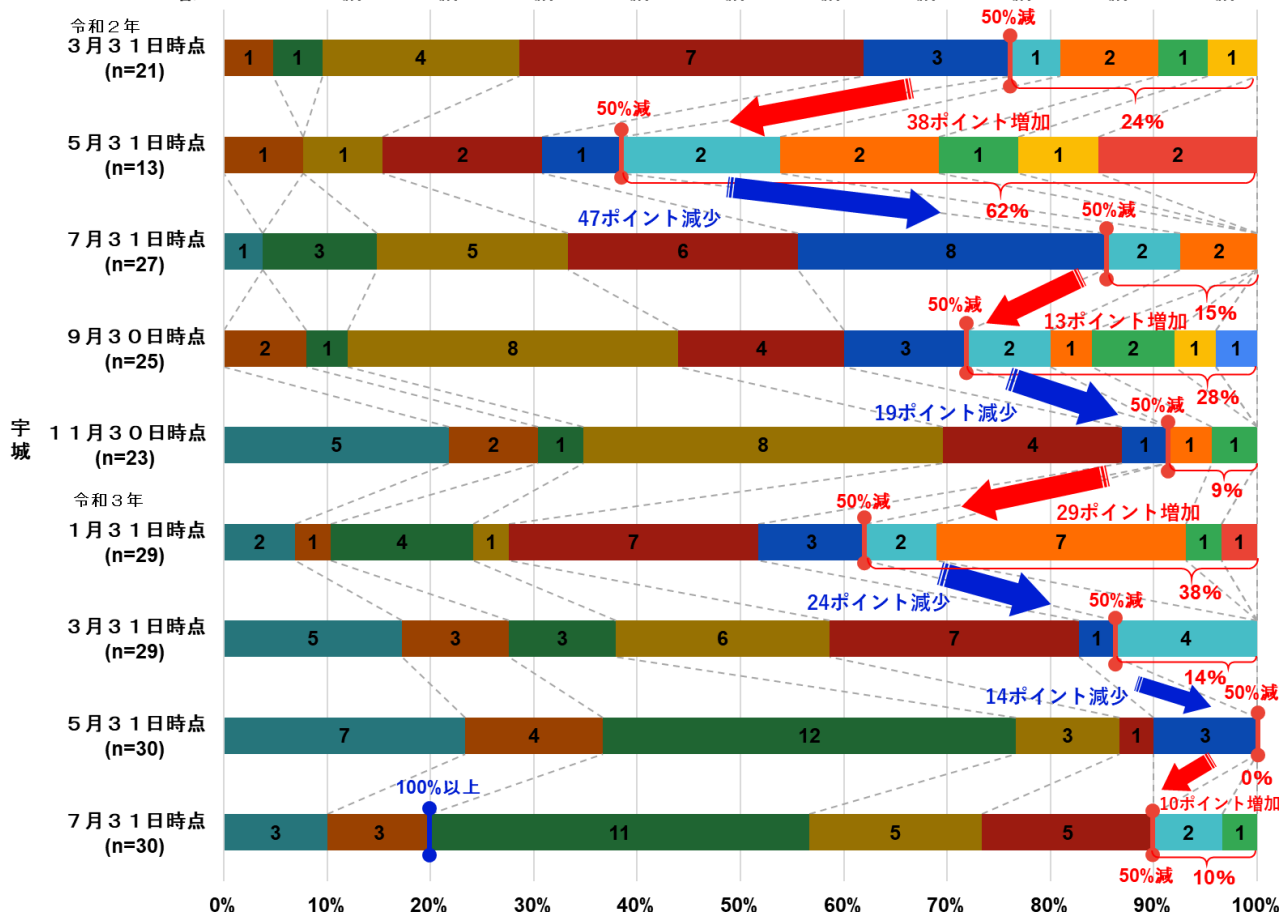
売上高の割合（熊本市）

■増加 ■±0 ■10%減 ■20%減 ■30%減 ■40%減 ■50%減 ■60%減 ■70%減 ■80%減 ■90%減 ■100%減

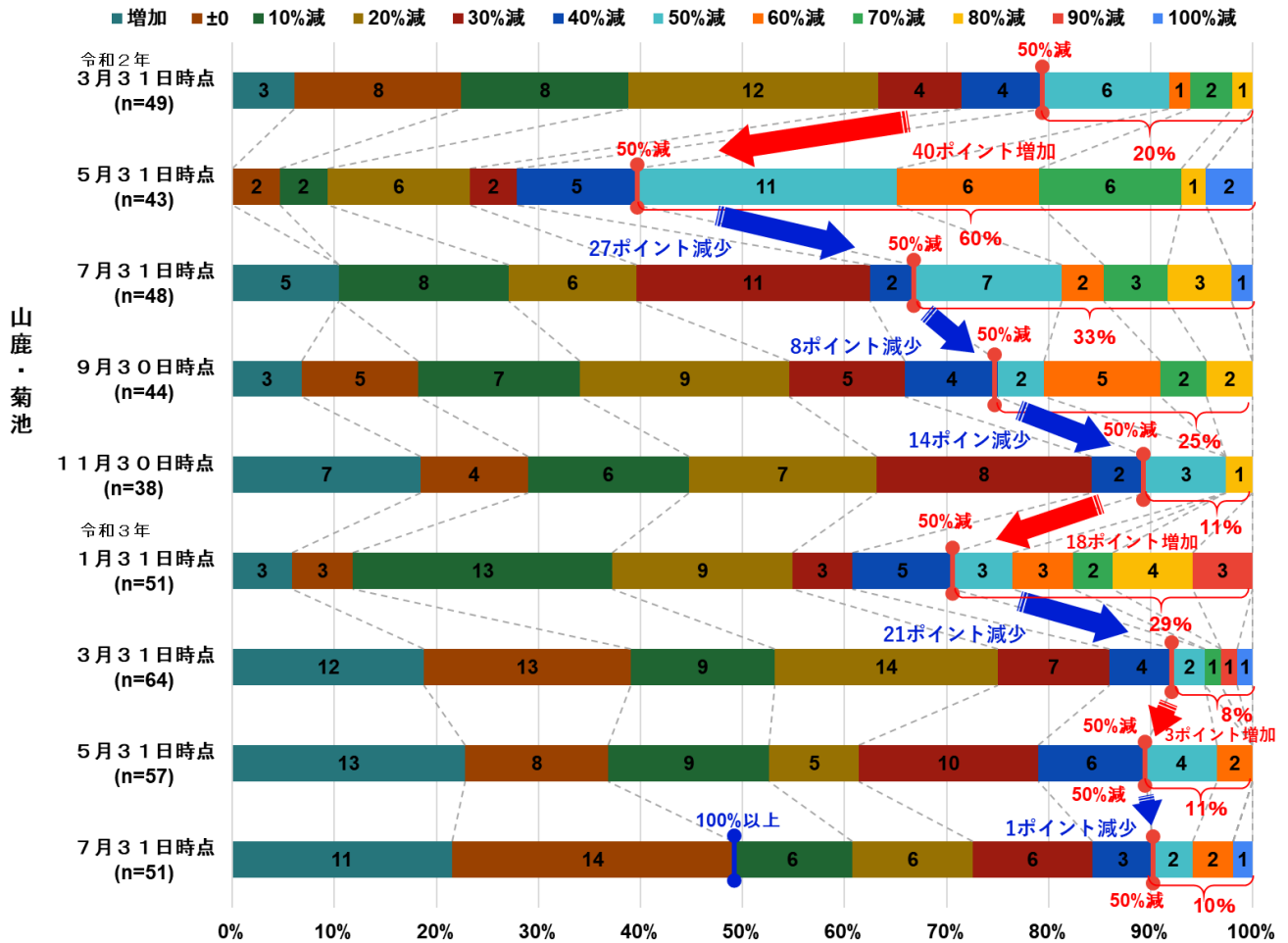


売上高の割合（宇城）

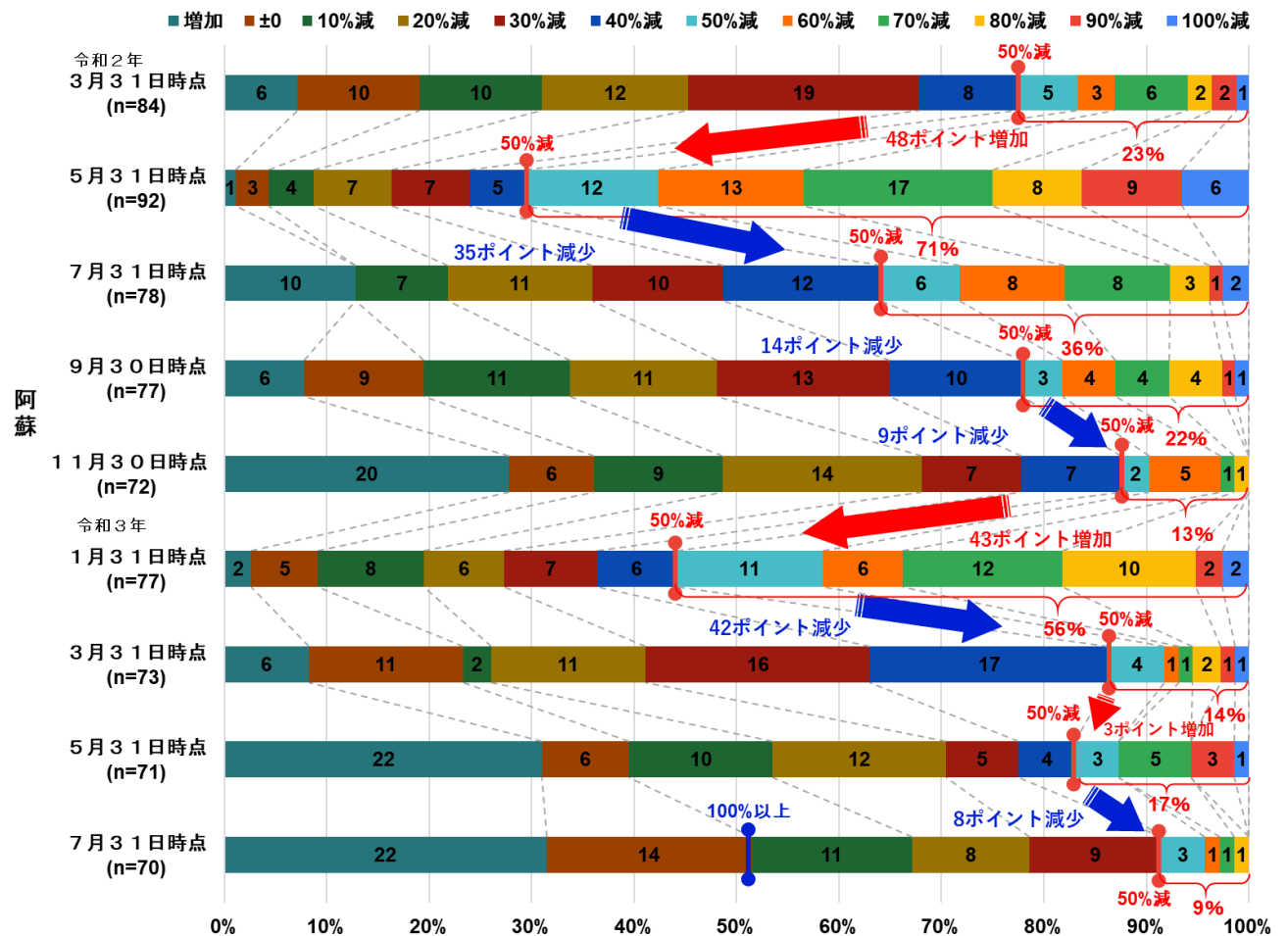
■増加 ■±0 ■10%減 ■20%減 ■30%減 ■40%減 ■50%減 ■60%減 ■70%減 ■80%減 ■90%減 ■100%減



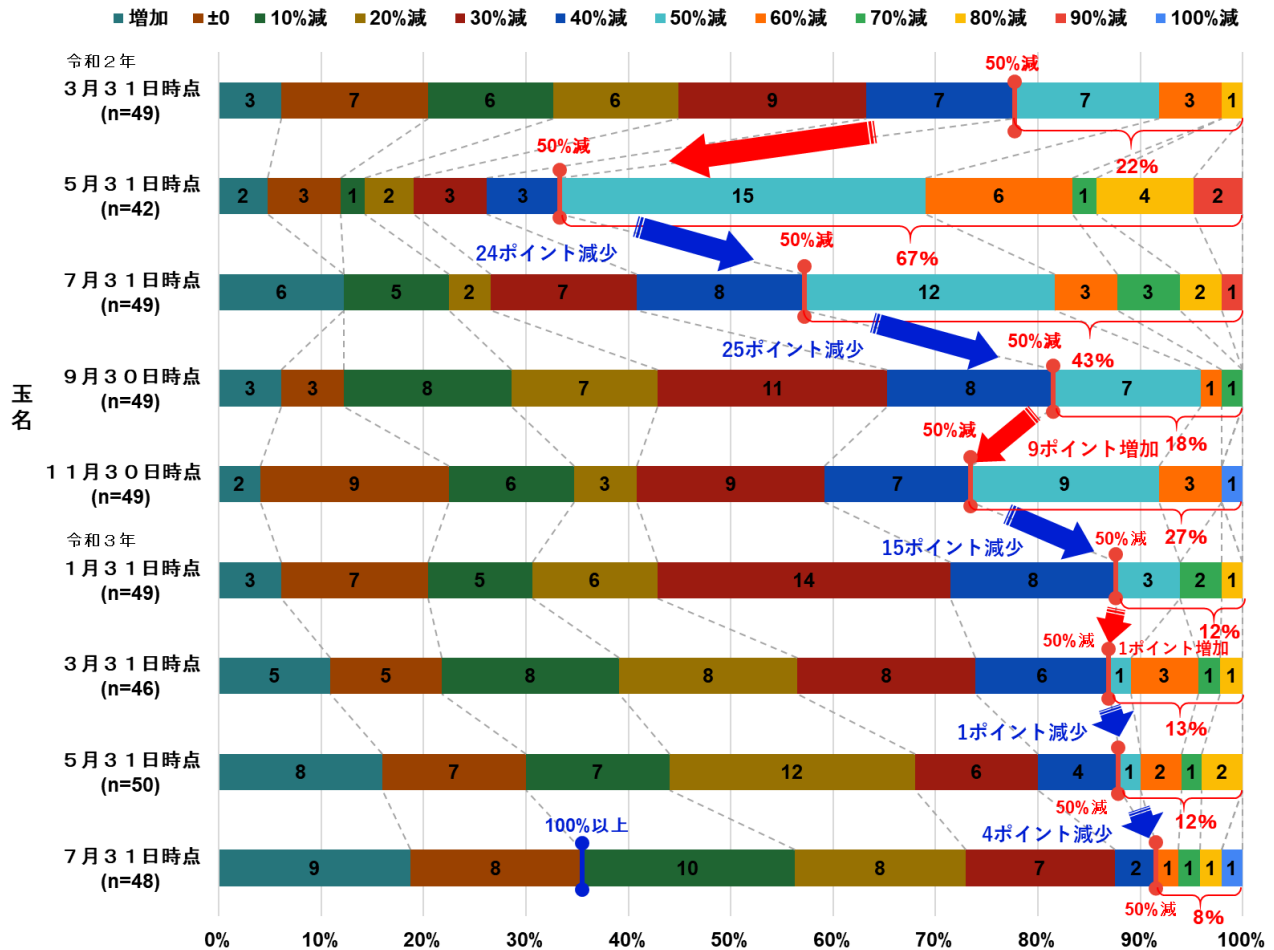
売上高の割合（山鹿・菊池）



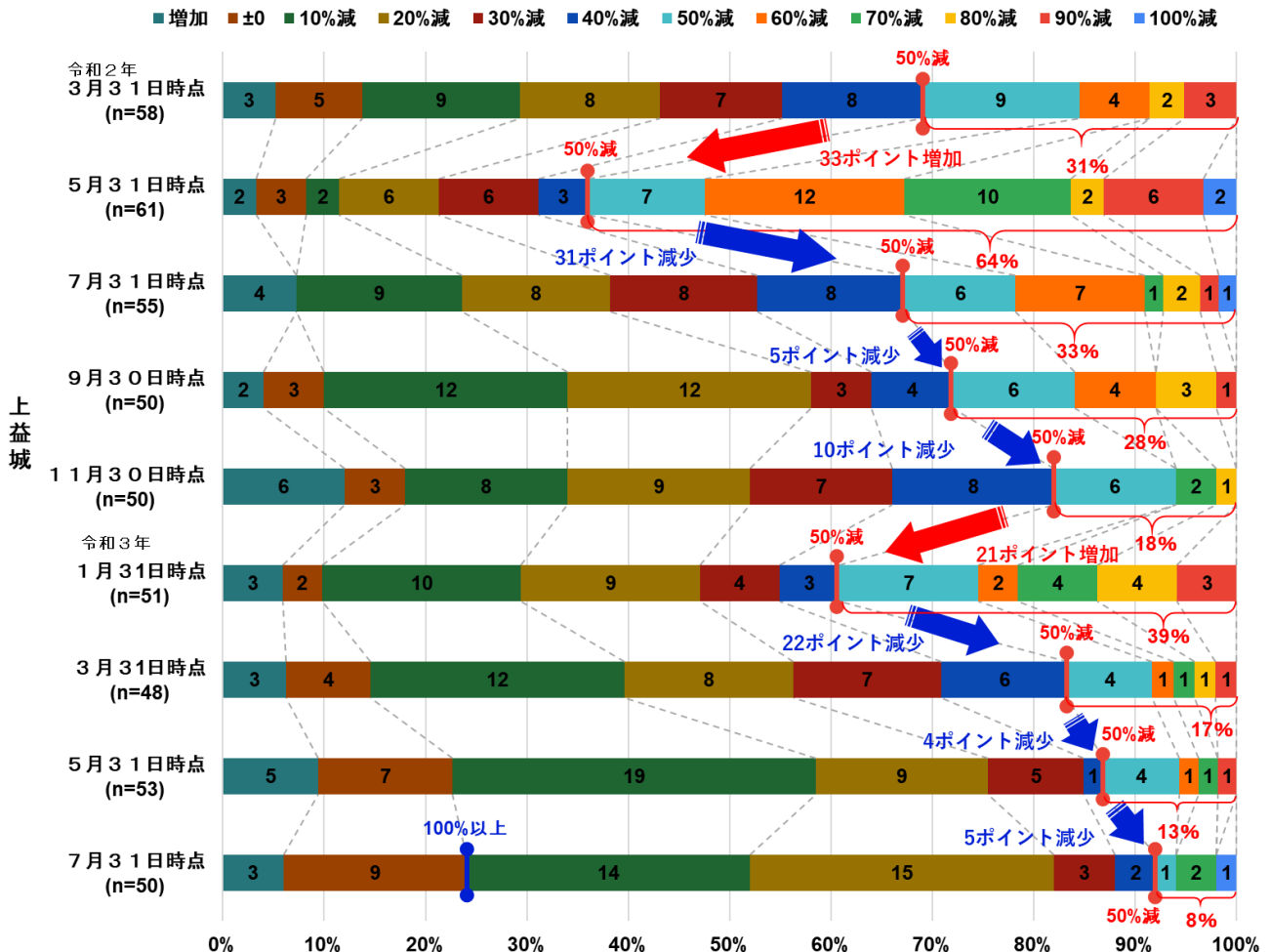
売上高の割合（阿蘇）



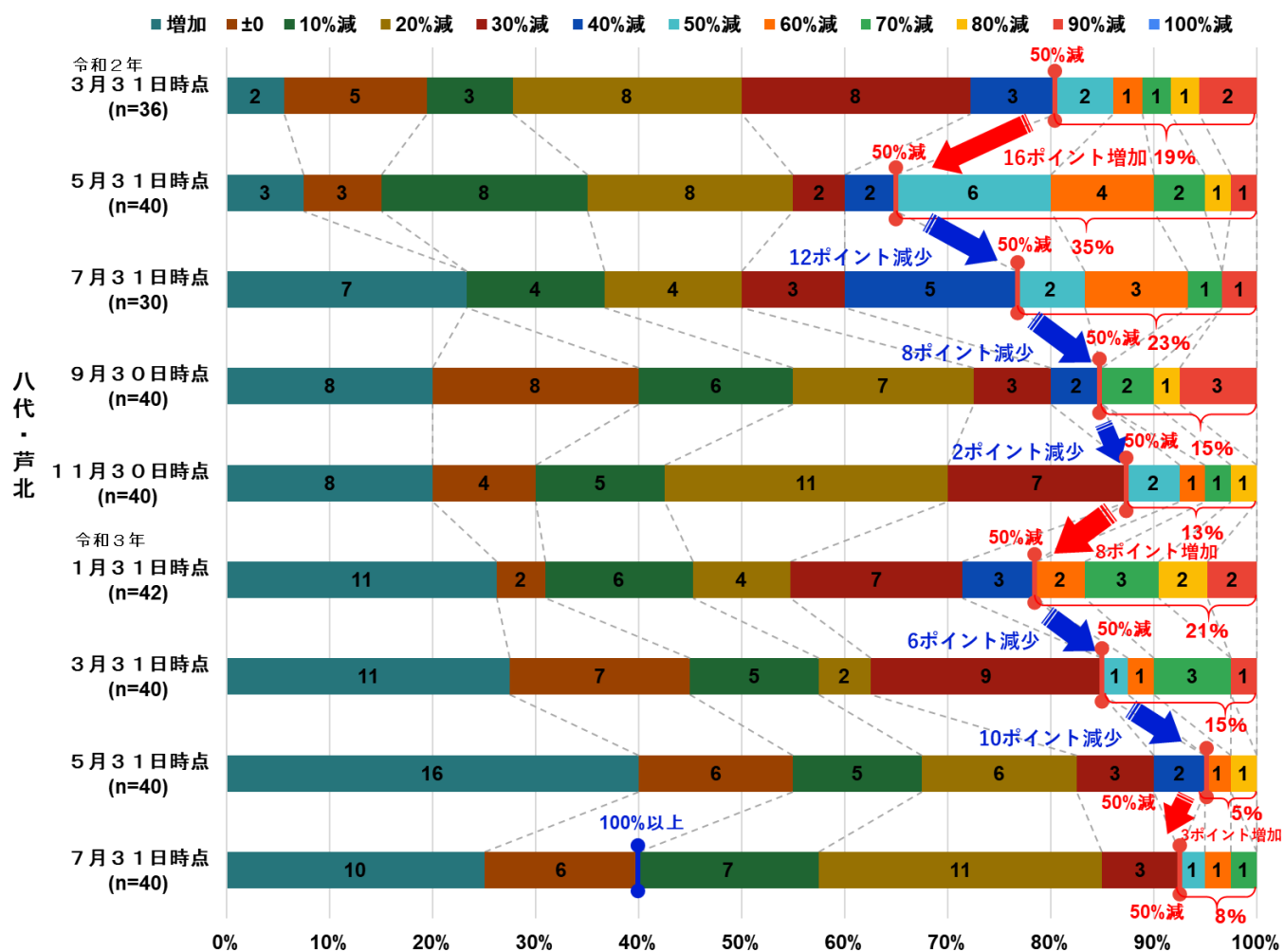
売上高の割合（玉名）



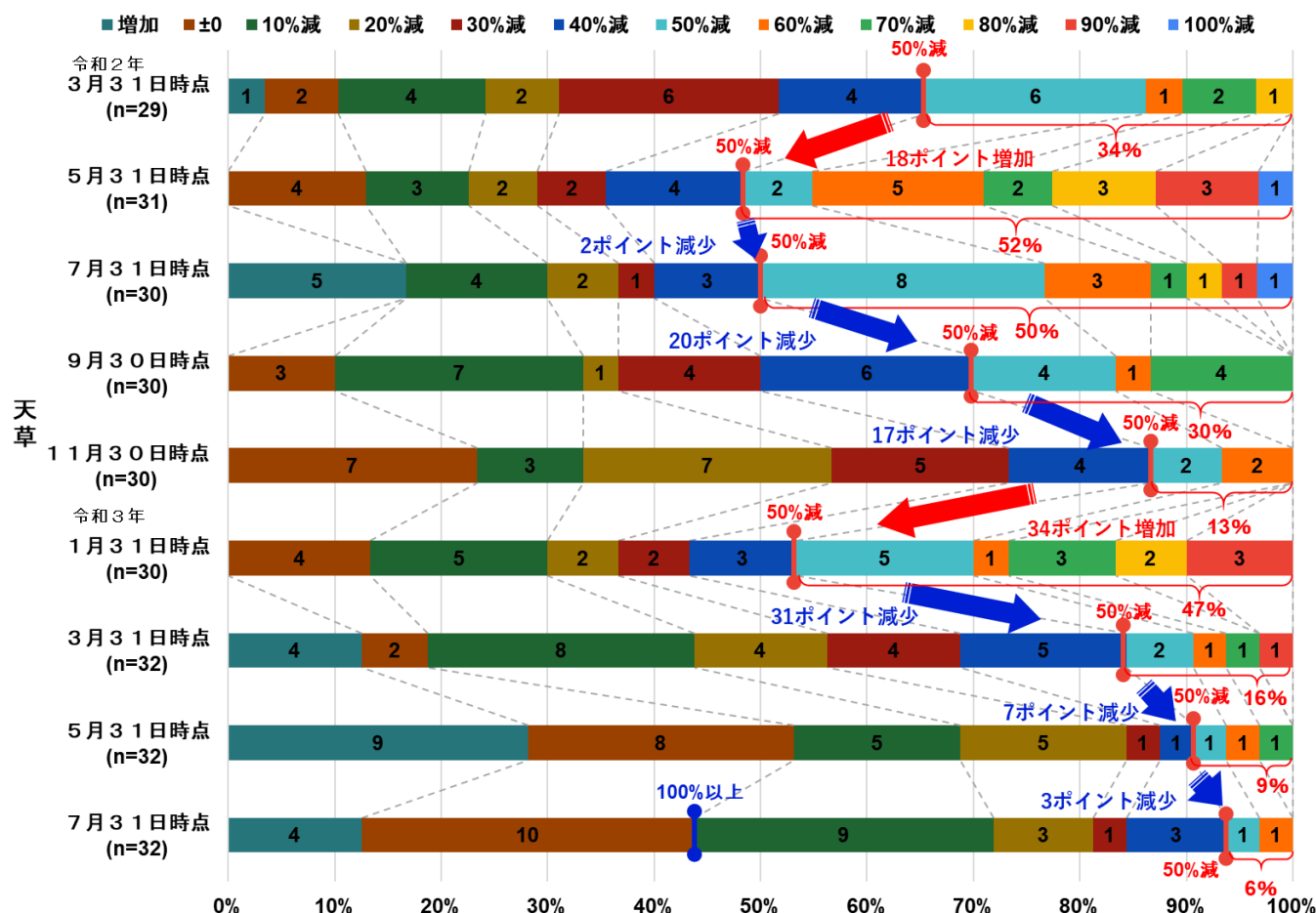
売上高の割合（上益城）



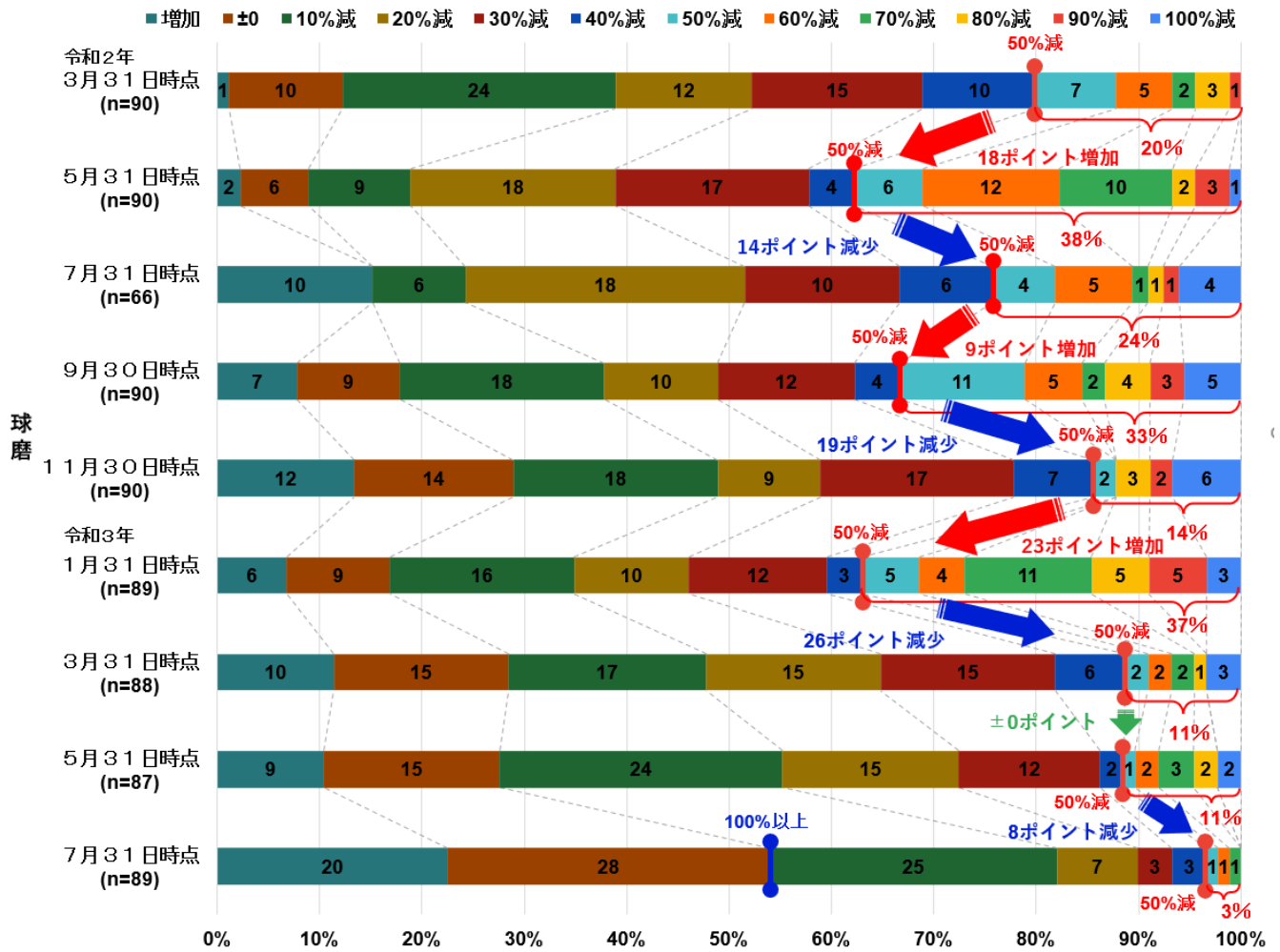
売上高の割合（八代・芦北）



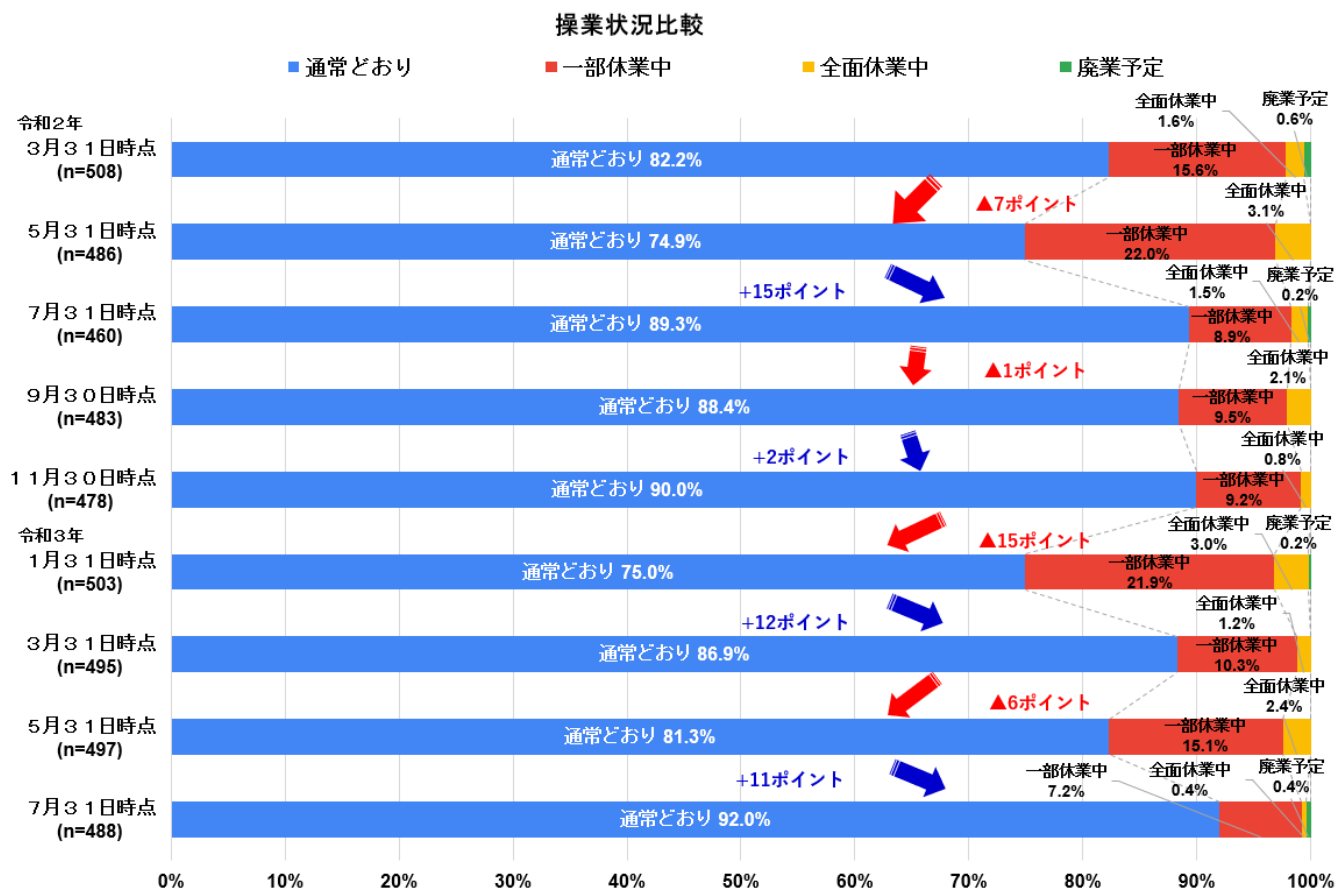
売上高の割合（天草）



売上高の割合（球磨）

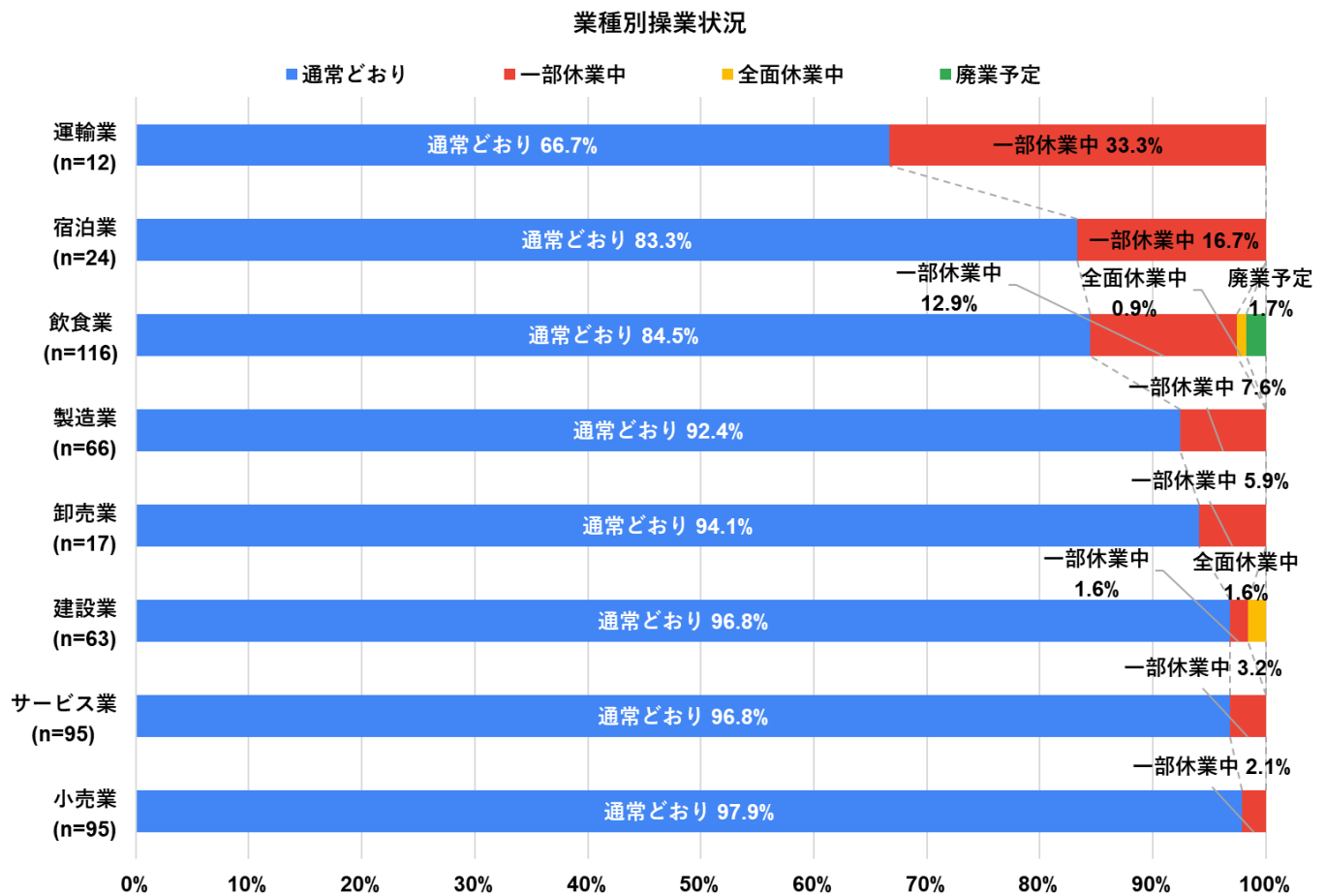


(4) 調査時点での操業状況の推移



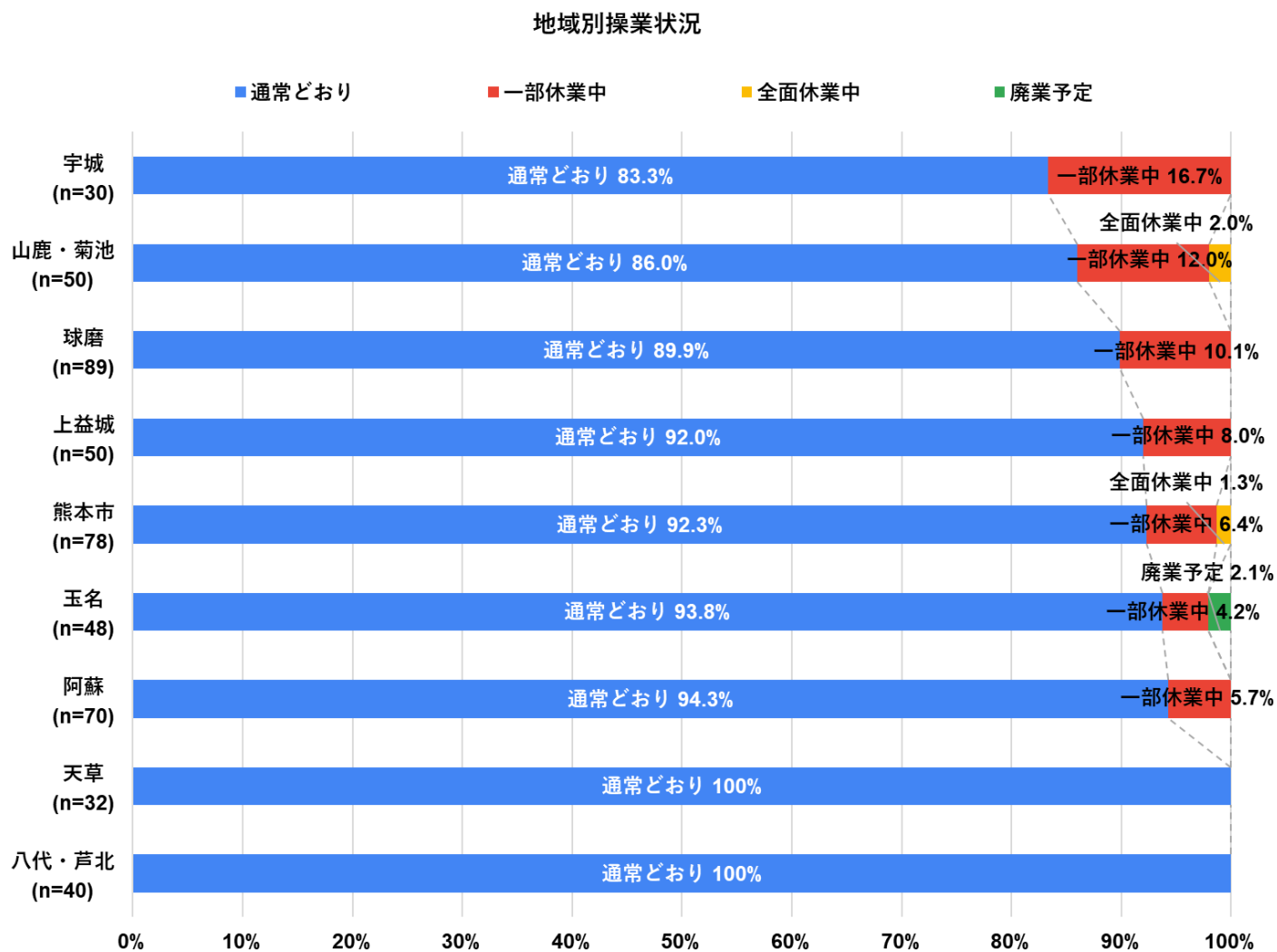
- ・ 時短営業や休業が減少したことにより、通常操業の割合が5月から11ポイント増加して92%となり、調査期間を通じて最も高い割合となった。

【7月31日時点：業種別操業状況】



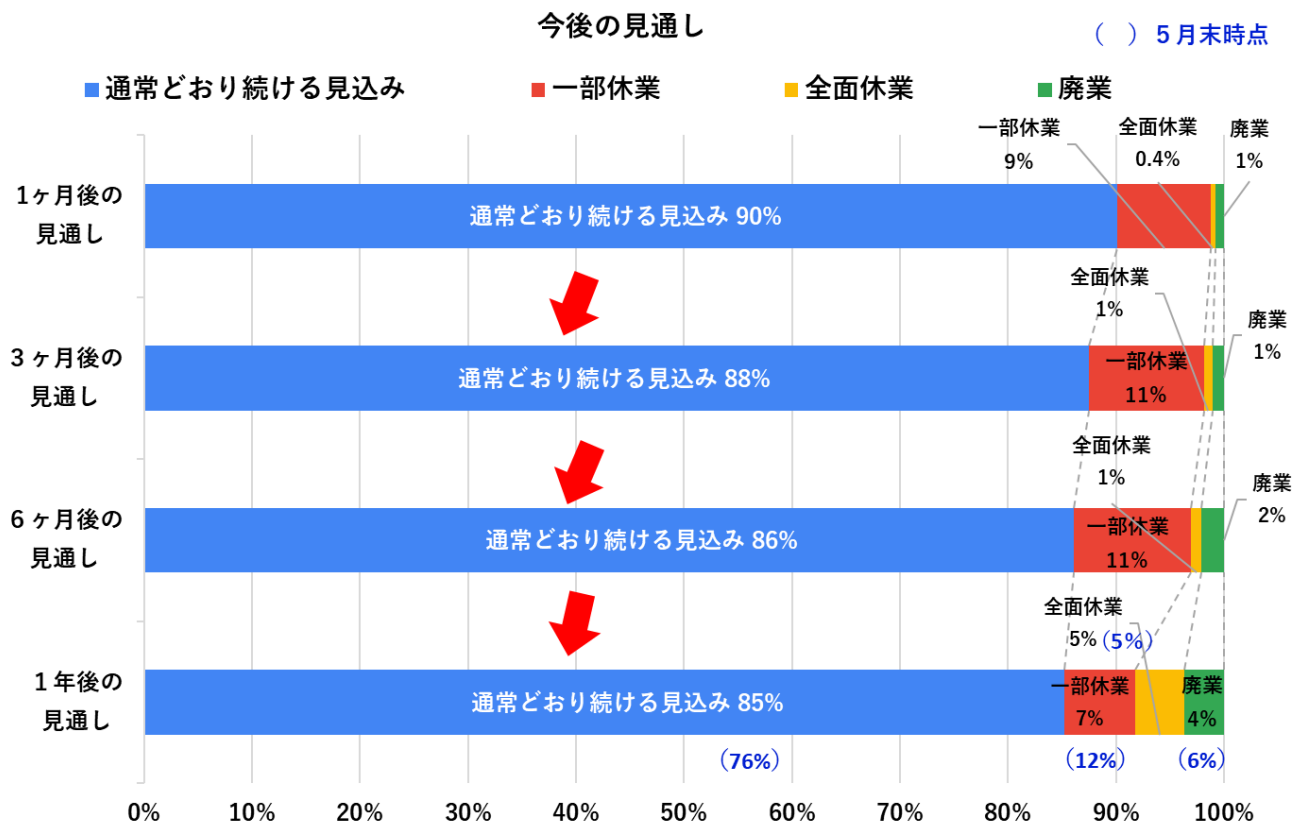
- ・ 運輸業は、観光バス事業の不振で1/3（33%）が一部休業中となっている。
- ・ 飲食業は、5月調査時点では、時短要請等により一部・全面休業の割合が合わせて4割（41.4%）を超えていたが、7月では13.8%まで減少している。

【7月31日時点：地域別操業状況】



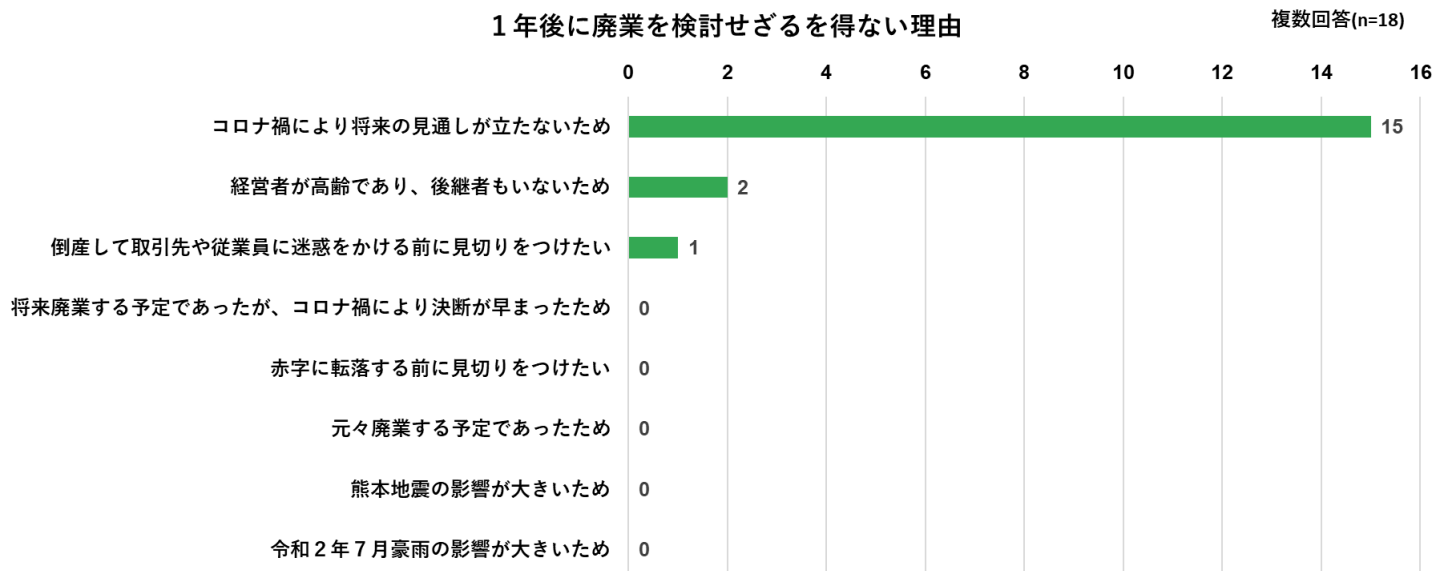
・ 通常操業の割合が全ての地区で80%を超え、特に天草、八代・芦北地区では100%となっている。

(5) 今後の操業の見通しについて【7月31日時点】
(1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後の見通し)

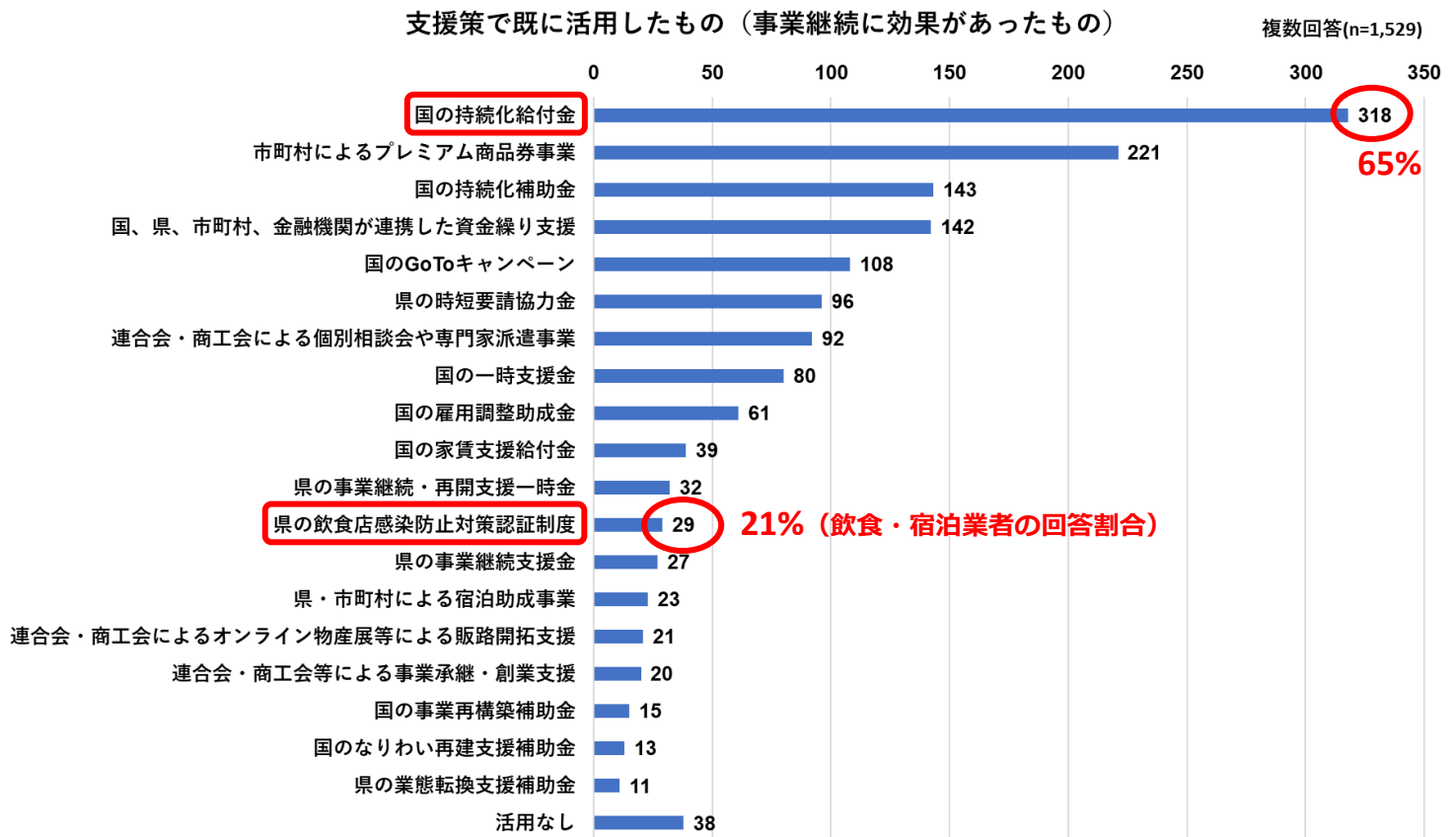


・売上回復を反映して、1年後の通常操業見込みが5月末から9ポイント増加して85%となり、廃業見込みは4%にまで減少している。

(6) 上記(5)の1年後の見通しで「廃業」と答えた事業者の、廃業を検討せざるを得ない理由【7月31日時点】



(7) ア 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）について



- ・ 国の持続化給付金の活用割合が、約2/3（65%）と最も高くなっている。
- ・ 6月にスタートした県の飲食店感染防止対策認証制度に対する飲食・宿泊業者の活用割合が21%となっている。

イ 支援策をどのように活用したか・事業継続にどのような効果があったか等について

【飲食業】

- ・ 持続化補助金を活用しピーナツ豆腐製造機械を購入した。おかげでピーナツ豆腐を取引先に営業し販路拡大に取り組んでいる。（玉名市／飲食業）
- ・ 支援金で赤字の補てんを行い、補助金で新事業を立ち上げ、運用して何とか売上を保っている。（御船町／飲食業）
- ・ 資金繰りが助かった。（菊池市／飲食業）
- ・ プレミアム付き商品券でお客様がよく利用していただいた。（宇城市／飲食業）
- ・ 事業継続に向けて、新たな販売方法（売り方・商品開発）を行った際に、各種補助金を活用した。それに合わせて、県制度を活用しコロナ融資を活用した。（熊本市託麻／飲食業）
- ・ 給付金や支援金でコロナ初期を乗り切り、補助金を活用し、事業内容の見直しを図った。（宇城市／飲食業）
- ・ 持続化補助金を活用し、ECサイトによる販売を行った。（熊本市託麻／飲食業）
- ・ コロナ型持続化補助金を活用してHPやオープン機械を導入した結果、新メニューの開発ができ、客層の若返りとなった。SNSについては随時更新して情報発信をしている。大変だが、時代が変化しているので顧客のニーズをつかみ固定客となるよう仕掛けている。（玉名市／飲食業）

- ・従業員の雇用維持、他は運転資金に費やした。GOTOやプレミアム商品券は利用客の増加につながった。それが設備導入に役立った。(益城町／飲食業)
- ・商工会独自コロナ対策補助金、町の休業補償助成金。(南小国町／飲食業)
- ・給付金助成金 資金繰り資金調達(借入) 資金繰り持続化補助金 キッチンカーの導入(週2回の稼働) 非常に役立っている。(甲佐町／飲食業)
- ・売上が低下している中で、持続化給付金や時短要請協力金をいただき、その中でコロナ対策もできました。(多良木町／飲食業)
- ・事業継続のために補助金等を活用して販路開拓などを図った他、資金繰りに充当した。
(あさぎり町／飲食業)
- ・売上は大きく減少していたが、補助金をいただいたため、事業継続ができた。(あさぎり町／飲食業)
- ・持続化給付金や町の補助金などを利用して事業継続できている。(あさぎり町／飲食業)。
- ・販路開拓支援で新規取引先が出来た。(熊本市河内／飲食業)
- ・販路拡大のための新規取引のマッチングで効果があり、引き続き機会があれば参加したい。
(熊本市北部／飲食業)
- ・持続化給付金またはコロナ対応マル経等の活用により、赤字の補填及び資金繰りに利用した。
(氷川町／飲食業)
- ・国の持続化給付金は売上減少が続く中、一時的に助けられたが、コロナ禍で一年半以上売上減少の中では非常に厳しい。もう一度給付金的なものがほしい。(宇土市／飲食業)
- ・補助金や支援金がなければ、運転資金が危なかったと思います。(熊本市植木町／飲食業)
- ・現在、新たな販路として焼酎開発を進めており、EC使用した非対面の事業化が見込める。
(玉東町／飲食業)
- ・売上減少で経営に大きな影響を受けている中に持続化給付金をもらえて助かった。(産山村／飲食業)
- ・持続化給付金、雇用調整助成金、時短要請協力金については、返済の心配をしなくて良いので助かりました。資金繰り支援は不安解消という点が大きかったと思います。(熊本市城南／飲食業)
- ・資金繰りに充当したほか、販路開拓の取り組みなどにも活用した。(あさぎり町／飲食業)

【宿泊業】

- ・資金繰りの安定化に寄与した。(熊本市植木町／宿泊業)
- ・GOTO等の宿泊補助による売上運転資金の借り入れ雇用助成金による従業員の確保。
(菊池市／宿泊業)
- ・運転資金を円滑化にするため、運転資金の借入や専門家派遣を利用し今後の売上増加や事業承継も視野に入れている。(八代市／宿泊業)
- ・持続化補助金を活用し、ワーキングプランの導入を行った。(阿蘇市／宿泊業)
- ・あらゆる支援策を利用して、何とかつないでいるが、宿泊客が増えないことにはこの先の資金繰りが難しい。GOTOキャンペーンは売上がかなり伸びたので助かりました。(菊池市／宿泊業)
- ・GOTOトラベルがあっていた頃はお客さんに多く来てもらった。また自粛等で売上が激減したときに持続化給付金を申請できて助かった。(産山村／宿泊業)
- ・事業を是が非でも続けなければならないので、資金も借りられるだけ借りて、県の業態転換補助金や経営革新計画を取り、新事業を展開して売上利益を1円でも稼いでいかないとならないと思っている。(熊本市植木町／宿泊業)

【小売・卸売業】

- ・従業員の給与。(熊本市託麻／小売業)
- ・商工会へ相談し活用した。事業承継については、後継者も中学生で特でない。
(山鹿市／卸売業)
- ・県外の方に知って頂き、購入して頂けるきっかけとなった。(菊池市／小売業)
- ・大容量のコンプレッサーを購入しました。塗装の作業時間の短縮やエアー切れの解消ができエアーが持続的に出ることによって塗装の色むらも無くなりました。回転効率も上がり作業する台数も増え、納車日が短縮されています。(熊本市託麻／小売業)
- ・人が動かないことから、お土産品としての需要がなく、製造数を大幅に抑えることになったため、従業員を休ませた際に雇用調整助成金を活用した。(熊本市託麻／小売業)
- ・GOTOキャンペーンのクーポン券利用店となり、観光客の来客が増加した。(上天草市／小売業)
- ・コロナ型持続化補助金を活用して販路拡大事業に取り組んだ結果、認知度向上と商品パッケージ改良に取り組め、売上げが期待できる。(玉名市／小売業)
- ・持続化補助金活用により新商品開発や他社ECサイトでの販売スタイル構築を実施できた。
(宇城市／小売業)
- ・酒類を中心とした小売業を営んでいますプレミアム商品券 使われるのは常時来られるお客様であり、サービスの一環として加盟店になっています。資金繰り。(甲佐町／小売業)
- ・G o To キャンペーンは仕入れ兼用に活用できた。プレミアム商品券は市場の消費欲が活性化し、売上げにつながった。連合会の専門家派遣で息子への事業承継が進んだ。(錦町／小売業)
- ・お客様にグレードの高い商品をご提案でき、ガス器具の先進機能について知っていただき購入にも繋がった。(熊本市富合／小売業)
- ・国の持続化給付金は、資金の面でとても助かった。(山都町／小売業)
- ・給付金により経営の持続が可能となった。(宇城市／小売業)
- ・普段給油されないお客さまが、商品券を使って給油して頂く。(水上村／小売業)
- ・持続化補助金により商品力をアップさせ、今の売上に繋がっていると思う。チラシを作成し周辺の観光施設に配布してもらう等の取り組みも有効であったと思う。(産山村／小売業)
- ・低金利の分への借り換えができた。法人200万円の支援金は売上減時には非常に有難かった。
(多良木町／小売業)
- ・市町村プレミアム商品券は消費に即効性があり有効だった。
金融の利子、補給についてはこれから先の変化について備えができて有効だった。
(熊本市北部／小売業)
- ・市発行のプレミアム商品券により消費喚起の効果があつた。(上天草市／小売業)
- ・商品券をつかってもらいやすいような金額に合わせたセット商品を作成した。(和水町／小売業)

【製造業】

- ・資金繰り支援が役に立った。(山鹿市／製造業)
- ・持続化給付金については、申請から入金までが迅速ですぐに事業資金として役立てられた。
(益城町／製造業)
- ・事業再構築にて採択。新事業の準備中。(小国町／製造業)
- ・持続化コロナ型採択、事業実施中。(小国町／製造業)
- ・雇用調整助成金は、雇用継続に活用した。(天草市／製造業)
- ・コロナ型持続化補助金活用で非対面型ビジネスモデルを構築することができた。(宇城市／製造業)

- ・甲佐町の給付金 資金繰り。プレミアム付き商品券 常連のお得意様に使っていただいた。持続化補助金で導入したＨＰがコロナ禍の時代に合っているせいか問い合わせ多し 売上の増加に繋がっている。(甲佐町／製造業)
- ・持続化補助金でホームページを作成し、個人客への小売りを開始した。(山都町／卸売業)
- ・資金繰りの改善。(山都町／製造業)
- ・市町村のプレミアム付き商品券によって畳工事を発注してくれる個人のお客様が増えた。
(水上村／製造業)
- ・市町村によるプレミアム商品券は、地域経済に恩恵をもたらした。(熊本市河内／製造業)
- ・POSレジの導入等システム構築を行い、顧客管理体制を整え販売の効率的が図れた。
(阿蘇市／製造業)

【サービス業】

- ・手元資金の確保と事業承継準備。(熊本市植木／サービス業)
- ・給付金や融資については売り上げが下がった際の補填として活用した。(熊本市富合／サービス業)
- ・持続化補助金申請の際に活用。事業計画書のブラッシュアップを実施。(大津町／サービス業)
- ・ＥＣサイトによる通販を始め、対面でなくても販売につながるようになってきた。
(菊池市／サービス業)
- ・商品券事業が一番効果が見えた。(熊本市河内／サービス業)
- ・持続化給付金は売上が減少した際の補填として助かりました。コロナ型の公庫の融資はすぐに必要ではありませんでしたが、資金繰りの不安からは救われました。(熊本市城南／サービス業)
- ・県の事業継続給付金により未払金の解消が図られた。ありがとうございました。
(多良木町／サービス業)
- ・雇用調整助成金や家賃補助の申請について専門家より指導を受け、申請に結びついた。
(玉東町／サービス業)

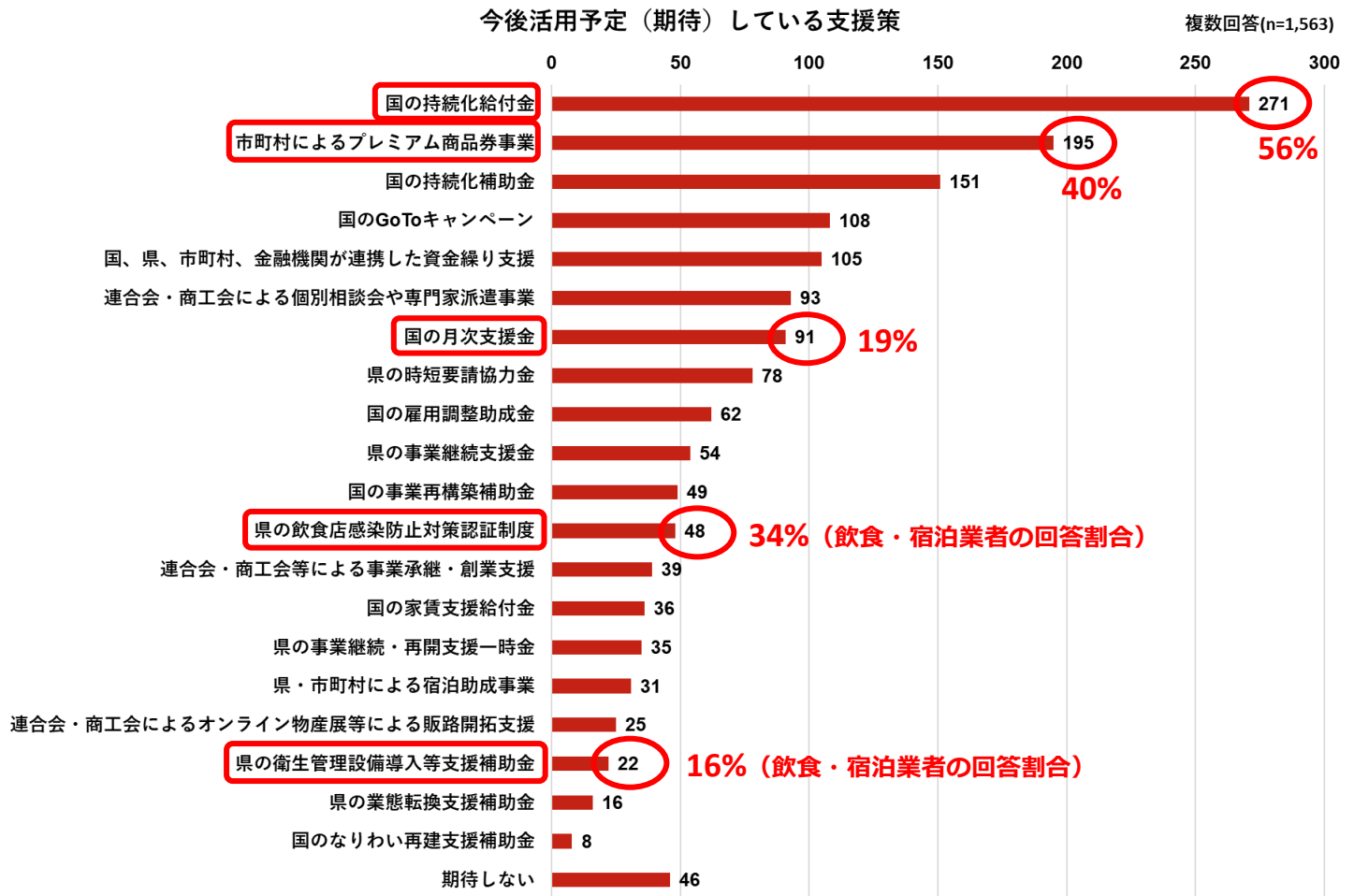
【建設業】

- ・運転資金への活用、PR費用等。(八代市／建設業)
- ・国の持続化給付金や熊本県、玉名市の支援金を活用した。入金があったので運転資金が円滑であった。(玉名市／建設業)
- ・コロナ対策（マスク・空気洗浄機等）に活用したい。(山鹿市／建設業)
- ・申請してから振り込まれるまでの期間が短く、資金繰りに効果があった。(熊本市富合／建設業)
- ・持続化補助金が採択されたため、現在実行中です。(玉東町／建設業)
- ・持続化給付金も雇用調整助成金も昨年のコロナ禍の中で不安な時期に助かりました。融資についても資金繰りの不安が無くなり助かりました。(熊本市城南／建設業)

【運輸業】

- ・補助金などで給与等の支払い、運営していく上での経費の支払にあてている。このような補助金のおかげで給与も払えて休業せず運営が出来ている。(菊池市／運輸業)
- ・従業員給与支払い。(高森町／運輸業)

(8) ア 今後活用を予定（期待）している支援策について



- ・ コロナ禍が長引く中で、事業を終了している持続化給付金の再交付を期待する割合が56%と最も高く、次いで市町村によるプレミアム商品券事業への期待が40%となっている。
- ・ 緊急事態宣言などの影響を受けて売上が減少した事業者に対して支給される国の月次支援金の受付期限が8月以降になっていることから、事業者の期待も19%と高まってきている。
- ・ 県の飲食店感染防止対策認証制度の活用予定（期待）が34%、県の衛生管理設備導入等支援補助金の活用予定（期待）が16%となっている。

イ 支援策をどのように活用予定か・期待しているか・その要件や手続き等の改善点等について

【飲食業】

- ・ 県の飲食店認証制度を利用するメリットがあまり感じられないので、認証を受けた飲食店向けの補助金などを期待したい。（あさぎり町／飲食業）
- ・ 感染しないさせない取り組みについて認証制度の認証を受けた。この対策の補助金の申請を予定している。（産山村／飲食業）
- ・ 認証制度の取組みは良いと思いますが、小規模事業者にはハードルが高いと感じています。（熊本市植木町／飲食業）
- ・ コロナ状況を見て、収束が長引くようであれば、現事業継続が厳しいと判断して補助金を活用した事業転換を考える。（御船町／飲食業）

- ・今後も続くと思われるコロナ禍の状況において、事業継続のために様々な取り組みを行う必要があると考えています。その際、商工会に相談をしたり、専門家の先生よりアドバイスをもらったりできれば助かります。また、売上が上がらないことからアルバイトの維持・自分の生活と非常に不安で、収入の心配があるので、支援金を今後も続けて欲しい。(熊本市託麻／飲食業)
- ・飲食店は来店数が見込めないのので、店舗内に新事業分野（カフェ）を開業した。認知度向上に取組み、来店数を増加させる。必要に応じて補助金を活用する。(玉名市／飲食業)
- ・長男への事業承継を検討しており、商工会や専門家派遣による個別指導に期待している。
(苓北町／飲食業)
- ・従業員の雇用維持に雇用調整助成金の活用していきたい。(天草市／飲食業)
- ・業態転換補助金が活用できれば、資金繰りの円滑化につながります。(玉東町／飲食業)
- ・現況では借入しても返済できる見込みがないので、返済する必要のない支援金や給付金を活用したいと思います。(熊本市城南／飲食業)
- ・事業再構築補助金を活用し、小売業への業種転換を行う為の設備投資とECサイト拡充、ふるさと納税への参入を予定している。(南阿蘇村／飲食業)
- ・今のような状況では返済を考えるとこれ以上借入れを増やしたくないので、補助金や給付金のようなものが助かります。(熊本市城南／飲食業)
- ・今後も持続化給付金の持続を期待したい。(氷川町／飲食業)
- ・国の持続化給付金は2回目をぜひおこなって欲しい。(美里町／飲食業)
- ・長期化するコロナウイルス感染症蔓延のため、再度の国の持続化給付金を期待する。
(八代市／飲食業)
- ・売上は減少したままで、資金繰りは厳しくなっているため持続化給付金のような補助金が出ることを期待している。(あさぎり町／飲食業)
- ・GOTOキャンペーンによるにぎわいの創出、又、給付金等による事業継続のための金融支援。
(宇土市／飲食業)

【宿泊業】

- ・宿泊客が増えない限りは自力で営業を続けるのは困難なので、GOTOキャンペーンや宿泊助成事業の再開を望みます。(菊池市／宿泊業)
- ・GOTOキャンペーン(全国)による旅行業の活性化。(高森町／宿泊業)
- ・事業承継補助金を申請したい。(苓北町／宿泊業)

【運輸業】

- ・バスの運輸業を営んでいるが、GOTOトラベルについて旅行業を営まれている方は十分活用されていると思うが、それに付随するバス観光業についてのメリットは少ない。そこで、バスのみ利用される方にも本支援金を活用できるように制度を見直してほしい。(山鹿市／運輸業)

【小売・卸売業】

- ・コロナ禍が長期化している中で手持金の手薄になっている。融資の弾力化を希望する。
(熊本市植木町／小売業)
- ・プレミアム商品券はお得となっていて気兼ねなく高額商品に使って頂けると思うので、定期的にあって欲しいです。(熊本市託麻／小売業)

- ・ G o T o キャンペーンは仕入兼用や店舗クリニックと併用できる可能性がある。プレミアム商品券事業は消費市場の活性化が期待出来、沈んでいる現状を打破できる。専門家派遣で事業承継が進展したり、新しい市場開拓の可能性が広がる。(錦町／小売業)
- ・ 市発行のプレミアム商品券による消費喚起の効果を期待している。(上天草市／小売業)
- ・ 2～3年後に廃業し、建物の承継を検討している。(玉東町／小売業)
- ・ ウッドショックに関する補助金等があれば活用したい。(氷川町／卸売業)
- ・ 国の事業再構築補助金などの計画を立てるときの条件などが付加価値率3割アップなど高すぎるのであらかじめざるを得ない。(熊本市北部／卸売業)
- ・ 事業再構築補助金にて村内に拠点の店舗づくりを行う計画。新阿蘇大橋周辺に活気を取り戻したい。(南阿蘇村／小売業)
- ・ 国の持続化給付金はぜひ2回目を。(美里町／小売業)
- ・ 持続化補助金の活用で、新商品開発や自社ECサイト構築を行いたい。(宇城市／小売業)

【建設業】

- ・ 事業の多角化等をおこない、外部環境の変化に対応する企業づくりを行いたい。(熊本市植木町／建設業)
- ・ 事業承継全般。(南関町／建設業)
- ・ 個別相談を充実させてもらいたい。(山鹿市／建設業)
- ・ 瓦の仕入れ設置する建設業を営んでいる。今の事業は先の見通しが悪く業態転換を計画しているの
で、県連に専門家派遣を依頼しながら進めて行きたい。(甲佐町／建設業)
- ・ 熊本県や熊本市では、宿泊の助成も始まった矢先、感染拡大が起こり、補助もしばらく停止となった。飲食業・宿泊業はワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、また厳しい状況になってきている。若い人の接種が進めば減少してくると思うが、それまでの間の資金繰りや家賃支援給付金、雇用を守るための雇用調整助成金などを続けて欲しい。また、減少してきたら宿泊助成などを再開して欲しい。(熊本市富合／建設業)

【製造業】

- ・ 販路開拓及び資金繰り支援。(山鹿市／製造業)
- ・ 観光業の活発化に期待したい。給付金などをもらえると補填になるので期待したい。(山都町／製造業)
- ・ 持続化補助金やものづくり補助金活用による新製品製造用の機械の導入。(宇城市／製造業)
- ・ 持続化給付金の様に簡単で分かりやすい支援を望む。G o t o のように起爆剤になる物を作ってほしい。(益城町／製造業)
- ・ 事業再構築補助金に取り組みたい。要件の緩和を望みたい。補助金の申請に係る助言、指導を受けるべく専門家派遣事業を計画している(甲佐町／製造業)
- ・ B C P 等の認定を受けている事業所への優遇などがあれば良い。(氷川町／製造業)
- ・ 事業承継の見据えた経営相談。(阿蘇市／製造業)
- ・ コロナウイルス感染症が長期化のため再度の持続化給付金を支給してほしい。(八代市／製造業)

【サービス業】

- ・ 2階をフィットネススタジオにすることで、新業態にチャレンジできる支援に期待。
(玉東町／サービス業)

(9) 国・県・市町村・金融機関・商工会の事業者支援策に対する意見や要望について

【飲食業】

- ・私達は、コロナの影響によりテイクアウトに切り替えたり、昼の営業も行っているが、この店を維持するためには、夜の営業が上がらないと継続できない。

今でも廃業する、せざるを得ない状況にある。しかし、しないのは借金をしているから、しないだけであります。借金で継続できているだけであって、いつでもつぶれる状態にあると思っています。

店を守るための融資を返済しなくてもよい方向に考えてもらいたいです。

これから、借りたものの返さなくてはならない。でも借りなければ職を失う。店がつぶれる。この2年間色々なことを考えました。

国や県からは、まずは飲食店の時短営業指示・・・

ましては、酒の提供の中止の指示。私達、居酒屋（世間様が呼ぶ名前）は酒を売ってなんぼです。一杯のビールを売って生活をしています。人間のストレス発散の場所、娯楽、親睦を深める場として私達居酒屋は存在しています。それを中止したら、人間なのでどこかで発散する場所を見つけるでしょう。店に入らなくとも、他の場所で誰かと会って、また、感染者が増える＝店の時短？！！？

もう分かっていますよ。感染者がUPすると、もうまた仕事を失うと心の準備はできています。「またか」と思いながら、予約キャンセルを受けています。たださえ、予約が入らない状況の中で一件、二件の予約キャンセルになる。苦しいですよ...

でも、この苦しさもなれました（笑）この先自分たちがどれ位生きていくか途中で病気したら借金さえも支払えなくなる。これが一番心配なことです。不安に思っていることです。

うちの店は、感染防止対策はこれでもか！！という程丈夫にしています。でも、一つ思うのは、ファミレスなどチェーン店の食事の場所、感染対策あいまいですね。アクリル板なんてほんの少し。テーブルの中央には一つもなく、隣同士の板のみ。これで感染防止対策ができていると思えますか？しかも、客は多い。腹が立ちますよ。

コロナ感染⇔居酒屋。この世の中の定義となりつつあるワード。居酒屋に対しての風評被害ですよ。居酒屋に行ったらコロナにかかる。うつる。そんな恐怖のワードがあるから、チェーン店や食事のみの店はお客さんが増える。居酒屋は全く客足がない。居酒屋だけでなく、人間同士がうつしあうんでしょ。会社でも、学校でも、ましてはショッピングだってうつります。

飛沫感染ですもの。飲食ばかり止めても、飲食店ばかり頑張っても仕方ない！！

世の中をストップさせないとロックダウンでもしないと止まりませんよ。

コロナの被害がない職の方、気持ちが分かりますか？

このアンケートで、売上高で昨年より少しは伸びているけど、この月だけだと思えます。その月だけ見てもらっても分からないです。8月に入り、二人の予約が2件のみ。この先どうなるか分かりません。昨年よりも努力して売上を上げています。月が変われば客足もガラッと変わります。本当であれば、ビールがおいしいこの夏。売っておきたい。一杯でも多くビールを売りたいけど、時短なのでお客さんは来るわけないんです。休業してもいいけど・・・でも一人でもお客さんが来るかも！！と期待して店を開けています。

店に来るお客さんはこう言います、「大変ね」って。「はい！大変ですよ！」というしかありません。中には「私はコロナに関係ないから。」と心ない言葉を発するお客さんもいます。心の中では「はー（怒）！！」とメラメラ怒る気持ちを押し殺し、笑顔で接客をする。この毎日です。

この世の中でコロナと関係ない人々は沢山いるのだなと悲しくなります。別に仕事なくなるわけでもない。テレワークで仕事をする訳でもない。不平等な世の中になりましたね。

テレワークで仕事はできないからって、逃げられている職業もありますよね。居酒屋も同じです。テレワークでビールを売ることはできないから通常営業をします。したいです。と言いたいです。人間平等なら居酒屋は感染するというワードを消してください。それだけ気が詰まる生活の二年目。まだ続きますか？こっちが聞きたいです。(熊本市北部／飲食業)

- ・ 支援金、補助金などの支援策はありがたいが、その情報が事業者が届くのが遅い事がある。乗り遅れないように事業者自身がアンテナを張ることも大事だが、商工会等が補助事業をもっと強くアピールして欲しいと思う事がある。(御船町／飲食業)
- ・ ワクチンを全員に早急に接種させてほしい。(宇城市／飲食業)
- ・ コロナ禍が落ち着いたら、プレミアム商品券(飲食店)をして欲しい。(熊本市託麻／飲食業)
- ・ 制度の不明点や、申請方法がわからないときの支援を継続してほしい。(宇城市／飲食業)
- ・ 商工会の方には相談等に乗っていただき、とてもありがたく思っています。今後もすぐに活用できる情報があったら教えていただけると助かります。(熊本市託麻／飲食業)
- ・ 地域によって、消費動向に違いもあるので、同条件による営業の成功例などの紹介などを知りたい。(益城町／飲食業)
- ・ 元々営業時間が夜8時迄で時短協力金対象外なので、幅広く支援してほしい。(嘉島町／飲食業)
- ・ 支援金等の手続きが複雑である。規模に応じた金額を支援するべきである。
当店は130年の老舗であるが、コロナ禍にあって続けていけるかどうか考えさせられている。老舗への優遇策がほしいところである。(甲佐町／飲食業)
- ・ 甲佐町出身でないので、同級生等の繋がりが少なく、厳しい時に来てくれる人が少ない
給付金や助成金の手続きが複雑である。コロナ禍になり飲食店全体で仕入れが少ならしく、その分価格が高くなっている。大きい部位で3割高くなったりしている。
スーパーに売っている値段よりも高い。商売を続けていけるか心配である。
ワクチン接種後にもマスク。外に出て食べる、飲むことが今後少なくなると廃業してアルバイトで生計を立てることも考えていかないといけない。
アクリル板等置いて顧客から嫌がられている。キッチンカーを現在、週2日は稼働しているが、場所探しに苦労している。(甲佐町／飲食業)
- ・ 飲食店に対して要請が厳しい。全ての飲食店の中でも、よくクラスターが起きている形態に対してもっと厳しくしていいのではないか。(大津町／飲食業)
- ・ 各補助金等も手続きが大変で入金も遅すぎる。善悪事業者の区別も各商工会照会で認めて欲しい。
(多良木町／飲食業)
- ・ 町の地域振興券・プレミアム商品券事業に期待している。(苓北町／飲食業)
- ・ 商工会には相談で対応して頂き助かっている。どこの事業所も厳しいため、少しでも事業継続に繋がる補助金などの支援策をお願いしたい。(あさぎり町／飲食業)
- ・ 商工会には情報提供や補助金申請などで対応して頂き感謝している。国などには補助金などの支援策を今後も充実させていただきたい。(あさぎり町／飲食業)
- ・ 商工会の各種給付金申請についてのサポートは大変助かっている。(美里町／飲食業)
- ・ 国の持続化給付金は売上規模に応じて2回目をやってほしい。(美里町／飲食業)
- ・ 店舗の巡回などをしていただき、現状を知ってもらいたい。(多良木町／飲食業)

【小売業】

- ・ とにかく現金が手元にほしい直接的かつシンプルな支援策を期待する。(熊本市植木町／小売業)
- ・ 引き続き商工会や役場には支援対策の情報提供をお願いしたい。(山都町／小売業)
- ・ 気軽にいつでも相談しやすい地域密着型の相談機関であり続けて欲しい。(宇城市／小売業)

- ・昨年度活用したセミナーや専門家派遣で経営計画が具体化できたので、引き続き活用したい。
(美里町／小売業)
- ・相談したら銀行、商工会の方達も親身になって相談にのっていただけるので助かります。今後も何かあったらお願いしたい。(多良木町／小売業)
- ・なりわい再建支援事業補助金の申請・報告等を大幅に簡素化してほしい。(八代市／小売業)

【製造業】

- ・コロナ禍に加えて人吉球磨は昨年の豪雨災害の影響も大きく、物産館等にギフト製品も出荷できなくなっている人吉球磨地区の災害復旧を何とか早くしてもらいたい。(多良木町／製造業)
- ・民間金融機関の資金繰り支援の対応強化。(山鹿市／製造業)
- ・事業主の要望を県や国にあげてほしい。ワクチンや感染対策をしたうえで、経済を回すか人を動かさないかはっきりして欲しい。(山鹿市／製造業)
- ・伴走型の支援機関としての役割を推進して頂きたい。(宇城市／製造業)
- ・今まで情報は人からネットでの情報で得ていたが、商工会の方から最新の情報を聞く事が出来会員になって良かったと思います。(熊本市植木町／製造業)

【建設業】

- ・類似の施策が国、県、市で各々あってわかりづらい。(熊本市植木町／建設業)
- ・経済が悪い状況で、雇用保険増税や最低賃金の引上げ等企業の首を絞めるような事をする意味が分からない。どのような支援策を行っても出費が増えたら無意味だと思う。国は資金が無くなれば国債を発行すればいいが、企業は倒産しかない事をわかってほしい。未来よりも今が大切、企業が死ねば国も死ぬ認識を持ってください。(錦町／建設業)
- ・当事業所はほぼ影響がないため、他業種を支援してほしい。(上天草市／建設業)

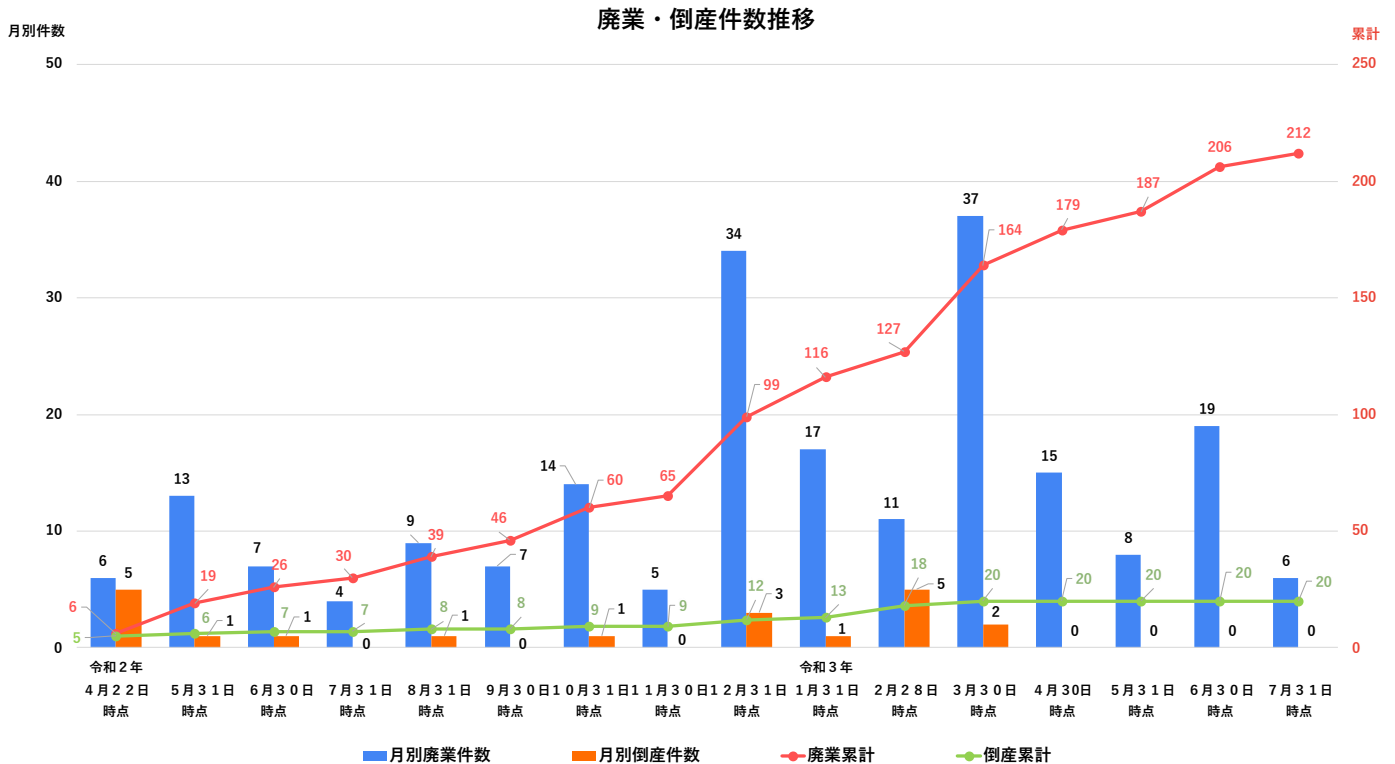
【サービス業】

- ・飲食店向けの感染防止認証制度を、自社のようなサービス業（整体）にも設けて欲しい。
(美里町／サービス業)
- ・熊本では第5波も県北で確認されたようだが、飲食店でのクラスター発生が影響しており、認証制度や飲食店への手厚い支援などについて効果性を含めて疑問を感じる。他の業種でも同じように苦しい状況のところは多々あるのに飲食業への支援策が羨ましく、不平等だと感じる部分がある。
(熊本市植木町／サービス業)
- ・新たな制度の開始時に、申請方法等不明なことが多いので、支援を続けてほしい。
(宇城市／サービス業)

2. 廃業・倒産の状況

(県内49商工会の令和3年4月1日現在の会員18,001者を対象に月末時点で把握した数値)

・ 廃業 212件 ・ 倒産 20件



- ・ 国・県・市町村・金融機関等の支援により、6月～7月の倒産件数は、4～5月に続き4ヶ月連続で「0」であった。
- ・ 廃業件数は、まん延防止等重点措置が適用された6月が19件と増加し、7月は売り上げ回復等により6件と落ち着いたが、昨年4月からの累計では212件に達している。

3. 熊本県商工会連合会の相談対応状況

(1) 県内49商工会・連合会による相談対応件数 () 5月31日時点

13,875件 (令和2年2月5日～令和3年7月31日時点) (13,045件)

＜内訳＞ 連合会・各商工会相談窓口【コロナ対応】 10,442件 (10,096件)
個別相談会【コロナ対応】 2,316件 (2,112件)
専門家派遣【コロナ対応】 201件 (146件)
サポートオフィス相談対応 443件 (307件)
エキスパートバンク・被災事業者経営支援相談対応 238件 (180件)
ZOOM(WEB会議)を活用した販路開拓個別相談会 235件 (204件)

(2) 県事業を活用した新型コロナウイルス感染症に係る個別相談会の開催

【相談対応件数：2,255件】

- ・開催時期 令和2年4月13日～令和3年7月31日時点 1日6時間
 - ・開催回数 474回 (延べ専門家数568名) ※1回の相談で2人の専門家の場合もある
 - ・うちホテル旅館開催型 11回
※商工会会議室に加え、経営状況の厳しいホテル旅館会議室も利用
 - ・対象者 新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けている、または今後影響が懸念される中小・小規模事業者
 - ・相談対応者 中小企業診断士、社会保険労務士、特任経営指導員等
 - ・対応内容 金融相談(資金繰り等)、労務相談(雇用関係等)、経営相談(給付金・補助金や各種支援策の活用等)、その他
- ※8月以降も「個別相談会」を継続開催中

(3) 県事業を活用した「新型コロナウイルス感染症に係る専門家派遣」の実施

【派遣件数：201件】

- ・実施期間 令和2年9月15日～令和3年7月31日時点
 - ・対象者 新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨により経営に影響を受けている、または今後影響が懸念される中小・小規模事業者
 - ・相談対応者 エキスパートバンク登録専門家等
 - ・対応内容 金融相談(資金繰り等)、労務相談(雇用関係等)、経営相談(助成金や支援策活用、経営改善、事業継続、事業承継等)、その他
- ※8月以降も「専門家派遣」を継続実施中